

令和3年度

沖縄県立埋蔵文化財センター

年報



目 次

I 概 要

| | |
|---------------------|---|
| 1. 設置目的 | 1 |
| 2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み | 1 |
| 3. 施設の概要 | 2 |
| 4. 組織と職員一覧（令和3年度） | 4 |
| 5. 調査業務 | |
| (1) 発掘調査 | 5 |
| (2) 資料整理 | 5 |
| 6. 資料の貸出・利用 | 6 |
| 7. 普及・活用 | |
| (1) 常設展示及び屋外展示等 | 6 |
| (2) 団体見学 | 9 |

II 令和3年度の報告

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 予算及び決算 | |
| (1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳 | 10 |
| (2) 財源内訳 | 10 |
| 2. 発掘調査等 | |
| (1) 分布調査、試掘・確認調査 | 11 |
| (2) 保存・活用目的の調査 | 11 |
| (3) 記録保存調査 | 11 |
| (4) 工事立会 | 11 |
| (5) 市町村支援 | 11 |
| (6) 資料整理・報告書作成 | 12 |
| 3. 普及・活用 | |
| (1) 入所者一覧 | 13 |
| (2) 団体見学一覧 | 14 |
| (3) 活動実績 | 14 |
| 4. 資料の貸出・利用 | |
| (1) 資料の貸出件数 | 16 |
| (2) 資料の利用件数 | 16 |
| 5. 研修・職員派遣 | |
| (1) 研修 | 16 |
| (2) 職員派遣 | 16 |

III 関係資料

1. 法規

- (1) 沖縄県立教育機関設置条例（抄） 18
- (2) 沖縄県立教育機関組織規則（抄） 19
- (3) 沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則 20

2. 収蔵資料の遺跡一覧 23

3. 刊行物一覧

- (1) 発掘調査報告書 31
- (2) 図録 34
- (3) 紀要 36
- (4) その他 36

I 概要

1. 設置目的

沖縄県立埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資する目的で設置され、次の業務を行っている。

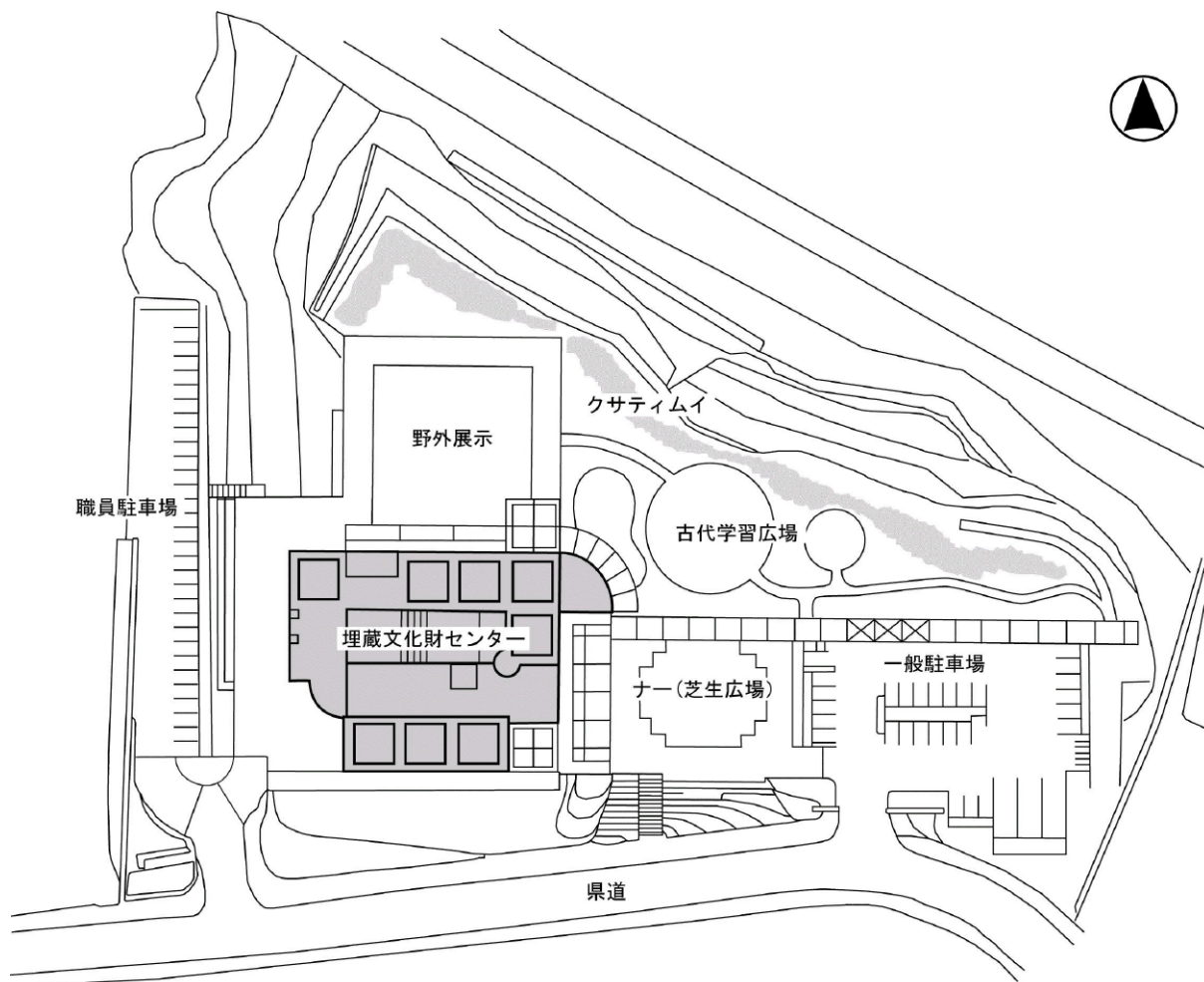
- (1) 埋蔵文化財の調査研究
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務

2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み

- | | |
|--------------|---|
| 平成 5 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本構想が承認される。 |
| 平成 6 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本計画が策定される。 |
| 平成 7 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本設計完了 |
| 平成 7 年 11 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター実施設計完了 |
| 平成 10 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事着工 |
| 平成 11 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事竣工 |
| 平成 11 年 12 月 | 平成 11 年第 7 回沖縄県議会で「沖縄県立教育機関設置条例の一部を改正する条例」が可決、沖縄県立埋蔵文化財センターの設置が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 定例県教育委員会で「沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則」が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター展示、外構、植栽工事完了 |
| 平成 12 年 4 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター開所 |
| 平成 13 年 3 月 | 企画展示室除湿工事完了 |
| 平成 14 年 3 月 | 収蔵庫空調設備工事完了 |
| 平成 31 年 4 月 | 外壁及び屋上補修工事完了 |

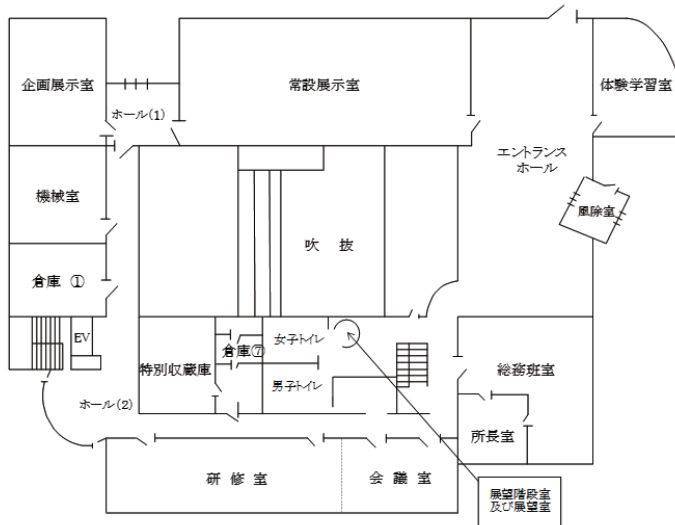
3. 施設の概要

| | |
|-------|-------------------------|
| 地名・地番 | 沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7 |
| 敷地面積 | 15,635 m ² |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 規模 | 地上 2 階 |
| 建築面積 | 3,688.29 m ² |
| 延床面積 | 4,179.88 m ² |

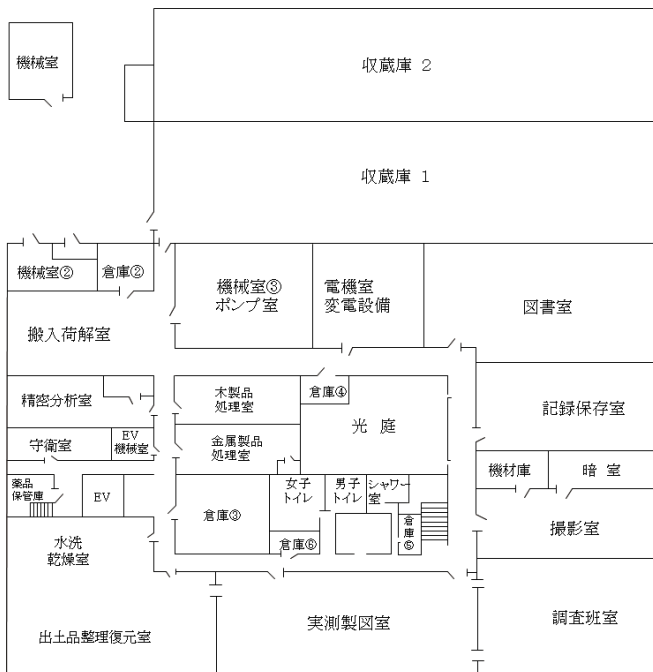


埋蔵文化財センター配置図

建物室別面積



2階平面

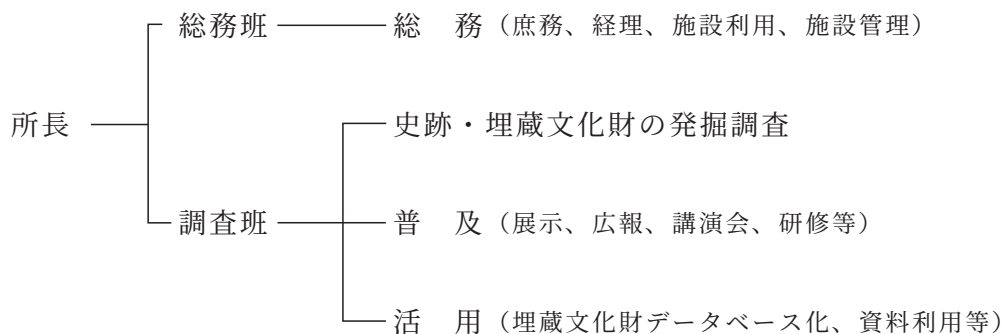


1階平面

| 区分 | 室名 | 面積 (m ²) |
|----------|-----------|----------------------|
| 展望室 | 展望室 | 14.33 |
| | 展望階段室 | 14.33 |
| | 小計 | 28.66 |
| 2階 | エントランスホール | 161.24 |
| | 体験学習室 | 64.80 |
| | 常設展示室 | 170.84 |
| | 企画展示室 | 87.80 |
| | 研修室 | 170.58 |
| | 会議室 | 86.39 |
| | 特別収蔵庫 | 69.70 |
| | 総務班室 | 66.55 |
| | 所長室 | 20.63 |
| | 給湯室・トイレ等 | 398.02 |
| 小計 | 1296.55 | |
| 1階 | 収蔵庫 | 1319.76 |
| | 搬入荷解室 | 52.04 |
| | 木製品処理室 | 33.89 |
| | 金属製品処理室 | 35.01 |
| | 精密分析室 | 40.32 |
| | 水洗乾燥室 | 57.01 |
| | 出土品整理復元室 | 124.71 |
| | 実測製図室 | 206.84 |
| | 調査班室 | 101.10 |
| | 撮影室 | 66.99 |
| | 記録保存室 | 85.19 |
| | 図書室 | 118.21 |
| | 機械室 | 109.82 |
| 給湯室・トイレ等 | 480.73 | |
| 小計 | 2831.62 | |
| 屋外機械室 | 23.05 | |
| 合計 | 4179.88 | |

4. 組織と職員一覧（令和3年度）

【組織】



【職員一覧】

所長 瑞慶覧 勝利

| 総務班 | |
|-------|--------|
| 職名 | 氏名 |
| 総務班長 | 池田 みき子 |
| 主査 | 渡久山 盛之 |
| 主査 | 慶田花 愛 |
| 主査(再) | 賀数 朝正 |
| 主任 | 石原 昌一郎 |
| 主任 | 當山 武幸 |
| 主事 | 高良 翔大 |

| 調査班 | |
|----------|--------|
| 職名 | 氏名 |
| 調査班長 | 中山 晋 |
| 主幹 | 知念 隆博 |
| 指導主事 | 大城 妃左緒 |
| 主任専門員 | 羽方 誠 |
| 主任専門員 | 片桐 千亜紀 |
| 主任専門員(再) | 金城 亀信 |
| 主任 | 具志堅 清大 |
| 主任 | 亀島 慎吾 |
| 主任 | 宮城 淳一 |
| 主任 | 玉城 綾 |
| 主任 | 田村 薫 |
| 主任 | 照屋 匠美 |
| 主任 | 廣岡 凌 |
| 専門員 | 奥平 大貴 |
| 専門員(臨任) | 城間 宏次郎 |
| 専門員(臨任) | 太田 樹也 |

5. 調査業務

(1) 発掘調査

沖縄県立埋蔵文化財センターにおける発掘調査を予算で分類すると、大きく文化庁国庫補助事業と、受託・分任事業の二つに分けられる。

文化庁国庫補助事業には、埋蔵文化財の分布状況や範囲等を把握し、埋蔵文化財を保護する際の基礎資料を収集するために行われる表面踏査、試掘調査、確認調査のほか、重要遺跡を保存・活用するための発掘調査も含まれる。

一方で、受託・分任事業で行う発掘調査は、開発工事及び公園整備により破壊される部分についてやむを得ず記録保存するために実施され、調査後は現地に遺跡が残らないことが多い。記録保存のための発掘調査に係る費用は開発側に協力してもらっている。なお、開発側が沖縄県以外の場合は受託事業、開発側が沖縄県の場合は分任事業となる。

(2) 資料整理

遺跡の発掘調査により得られた出土品は、下表の流れで整理され、遺構図や写真等とともに発掘調査報告書に掲載される。

発掘調査報告書の刊行をもって発掘調査事業の完了となるが、資料整理には複数年を要することがほとんどである。

発掘調査事業完了後も、出土品、写真、図面等の記録類は適切に埋蔵文化財センターで保管され、展示会等による公開のほか、国内外の研究者等による資料調査等に活用される。

資料整理の流れ

| | |
|------------------|---|
| STEP 1 洗 浄 | 出土品についた土などをきれいに落とす（基本的に現場で実施）。 |
| STEP 2 注記・分類 | 出土品の一点一点に遺跡名や出土地点、出土日などの情報を書く（注記）。その後、土器、石器、陶磁器など種類別に分ける作業を行う（分類）。 |
| STEP 3 接合・拔出し | 出土品の多くが小破片のため、できるだけもとの形が分かるように破片同士をつなぎあわせる（接合）。その後、調査報告書に掲載する出土品を選ぶ（拔出し）。 |
| STEP 4 実測・復元 | 出土品をよく観察し、形状や特徴などが分かるように、平面・断面・側面図などを作成する（基本的に実物大）。作成した図面をもとに、出土品をもとの形に復元する。破片が見つからなかった部分は、必要に応じて石膏などで補う。 |
| STEP 5 トレース | 報告書に掲載するために、実測した図をきれいになぞる。 |
| STEP 6 写真撮影 | 報告書に掲載するための写真を撮影する。 |
| STEP 7 図・図版作成 | トレースした図や写真をページ毎に配置して番号等を付す。 |

6. 資料の貸出・利用

沖縄県立埋蔵文化財センターで保管・管理している資料（出土遺物・写真類・文献等）は、遺物展示や図録掲載などで各教育機関や博物館等が利用する際に、資料貸出を行っている。また、報道機関等からの利用希望があった際には、写真の提供を行っている。出土遺物に関しては、国内外の研究者等の資料閲覧を受け入れている。

当センター所蔵資料を利用する際には、「沖縄県立埋蔵文化財センター 所蔵」と明記するとともに、図録や論文等に掲載した場合は、掲載資料を2部寄贈することとなっている。

貸出及び閲覧等の申請書類の様式は、ホームページに掲載しているが、前述したように他機関へ貸出している場合があるので、事前に資料の利用可否や閲覧日等について連絡調整が必要となっている。

7. 普及・活用

沖縄県立埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財に関する資料の保存（記録）と活用を図ると同時に、知識の普及を通じて教育や学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

具体的には、団体見学の受け入れや体験教室、企画展、文化講座の開催を始め、資料の貸出しと図書閲覧室の利用などを通して埋蔵文化財に関する情報の活用を図り、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められるようにしている。

（1）常設展示及び屋外展示等

①常設展示室（170.84㎡）

常設展示室（図1）では、遺物や遺跡を展示・紹介することで、沖縄県の歴史や文化が理解できるような展示を行っている。常設展示室では、9つのテーマにそったコーナー展示を設け、中央にはこれまで発掘した遺跡をもとに再現した「2000年前の琉球のムラ」のジオラマ（模型）と当時の食べ物を復元した「琉球御前」の展示ケースを設置し、2000年前の埋葬施設を復元した「石棺墓の半截模型」を展示している。また平成29年1月より、当センターが所蔵する一押し逸品を展示する「まいコレ（埋文コレクション）」を展示している。

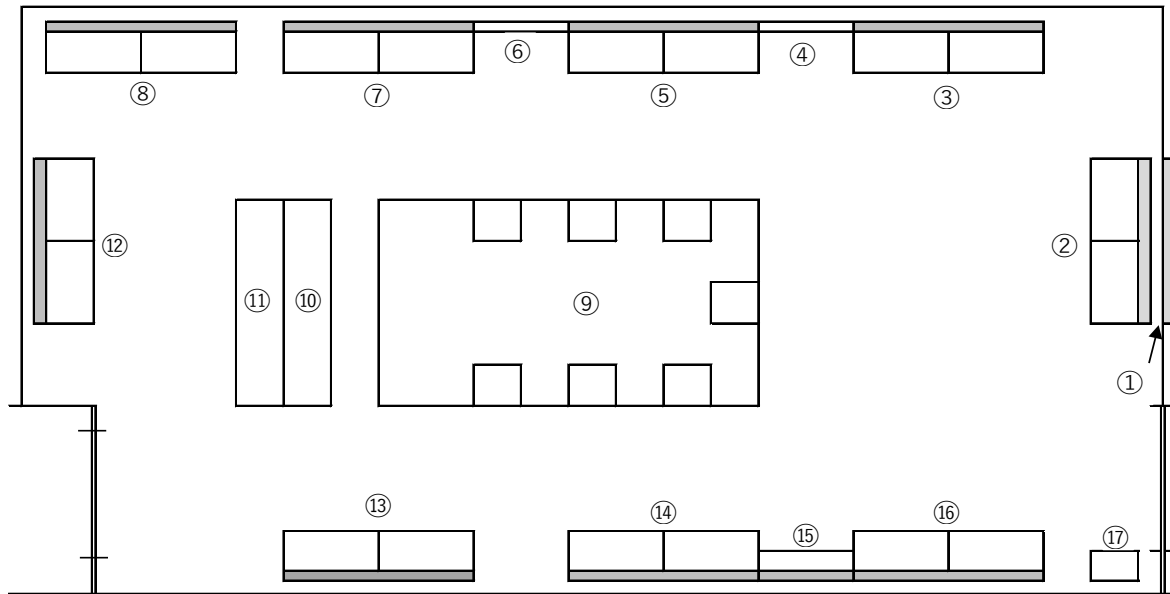


図1 常設展示室

【展示内容】

- ① 沖縄県主要遺跡分布図
- ② 沖縄新石器時代人はどういう所に住んでいたのか
- ③ 沖縄にはいつごろから人が住みついたのか
- ④ 白保竿根田原洞穴遺跡地層剥ぎ取り
- ⑤ 土器で見る沖縄先史時代の文化圏
- ⑥ 具志川島岩立遺跡西区より剥ぎ取った土層
- ⑦ 住まいと道具－1
- ⑧ 貝の道
- ⑨ 再現された「2000年前の琉球のムラ」(ジオラマ)
- ⑩ 復元した「琉球御前」
- ⑪ 復元した「石棺墓の半截模型」
- ⑫ グスクの移り変わり
- ⑬ 海外交易を物語る貿易陶磁器
- ⑭ 沖縄の古窯
- ⑮ 沖縄県の戦争遺跡
- ⑯ 先史時代の宮古・八重山諸島
- ⑰ まいコレ(埋文コレクション)

②体験学習室（64.80 m²）

体験学習室（図2）では、実際に手で触れたり、体験したりすることを通じて、当センターの活動や、先人の知恵や生活について理解を深めてもらう活動を行っている。

体験学習室に入って右側のコーナーでは、埋蔵文化財センターで行っている「発掘調査」や「資料整理」の活動をパネルでわかりやすく説明している。またトレース台や実測機を置いて、「資料整理」の活動を体験できるようにしている。

また窓際のテーブルでは、「資料整理」の接合の作業を体験してもらうため、当センターで所蔵している遺物の写真を使ったパズルを設置している。

さらに体験学習室の真ん中にある円形のテーブルには、沖縄諸島で発掘されている縄文時代の主な土器のレプリカを並べ、実際に手で触ったり、持ったりしてもらうことで、縄文時代の人々の生活を肌で感じられるようにしている。

なお令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一年中閉鎖となった。

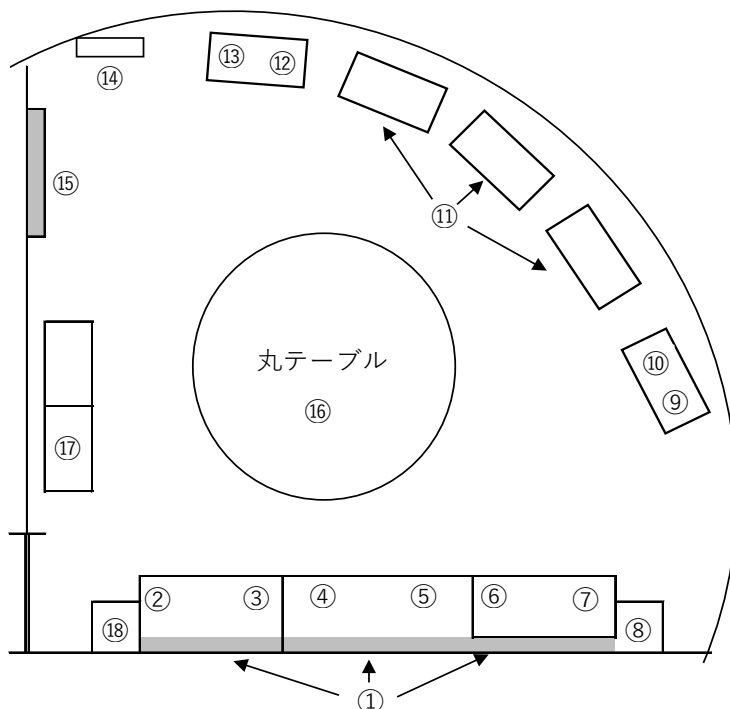


図2 体験学習室

【展示内容】

- | | |
|--|--------------------------|
| ① パネル「発掘調査ってどう掘るの？」 「資料整理の様子をのぞいてみよう」 | ⑩ 日本で一番古いお墓 |
| ② トレース台 | ⑪ 接合にチャレンジ |
| ③ 実測器 | ⑫ 土器の文様をつけてみよう |
| ④ 接合・復元 | ⑬ ペーパークラフトをつくってみよう |
| ⑤ ナンバーリング | ⑭ ロールスクリーン（仲原遺跡） |
| ⑥ 洗い作業 | ⑮ 重要文化財首里城京の内跡出土品 パズル |
| ⑦ 型式学 | ⑯ 縄文時代の主な土器 |
| ⑧ 発掘調査で使う道具 | ⑰ 火起こし器 |
| ⑨ 黒曜石はどれだ？ | ⑱ 古代人になってみよう |

③企画展示室（87.80 m²）

企画展の会場として使用している。企画展示室中のエアータイト（備えつけ展示ケース）は、密閉して空調（温湿度）を管理することができ、国指定重要文化財の展示にも対応できる。

④古代学習広場

「古代学習広場」は、「親子体験学習」や「火おこし体験」、「土器づくり」等で活用している。

⑤研修室（170.58 m²）

考古学に関する会議や研修、または文化講座等を開催している。

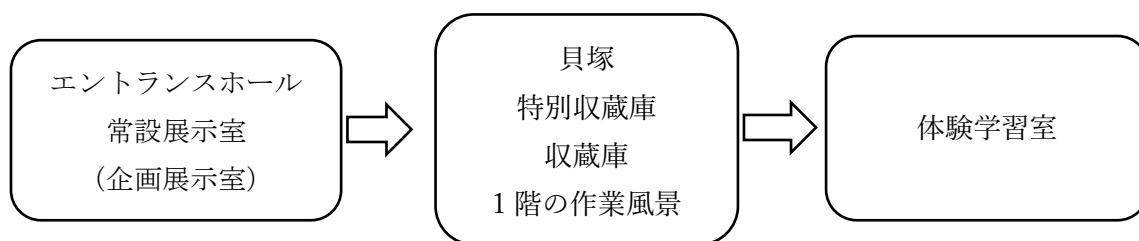
⑥屋外展示（貝塚コーナー）

埋蔵文化財センター入口に向かって左手に、貝塚コーナーを設置している。伊江村にあるナガラ原西貝塚と阿良貝塚から発掘された貝殻を使用して貝塚を再現しており、自由に手にとって貝を見ることができる。

（2）団体見学

当センターは、学校や自治会などの様々な団体の団体見学を受け入れており、その際担当職員によるガイド（解説案内）を行っている。団体見学の際は、常時公開されている常設展示室や企画展示室、体験学習室の案内以外にも、収蔵庫の見学や当センターでの業務の様子の見学なども実施している。

【団体見学のモデルコース】



【団体見学受付の際の注意事項】

- ・ 団体見学は、10名様以上の団体が対象。
- ・ 団体見학을希望する際には、「団体見学ガイド申込書」を提出する。
- ・ 団体見学ガイドを申し込む場合は、希望日の1週間前までに電話で確認する。
- ・ 「団体見学ガイド申込書」は、希望日の5日前までに提出する。FAX受付の場合は原本を当日持参して提出する。
- ・ 団体見学は原則として休所日を除く火曜日～金曜日（9時～17時）に実施しているが、要望に合わせて、土日または休所日に団体見学を行う場合もある。

II 令和3年度の報告

1. 予算及び決算

(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳

単位：円

| 事業区分 | | 事業名 | 当初予算 | 補正額等 | 最終予算 | 決算額 | 繰越額 |
|--------|-------------------|------------------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|
| 国庫補助事業 | (文化庁計上分) | (1) 県内遺跡発掘調査等 | 112,100,000 | ▲ 44,130,000 | 67,970,000 | 63,820,414 | 0 |
| | | (2) 京の内跡出土陶磁器保存修理 | 5,120,000 | 0 | 5,120,000 | 4,985,824 | 0 |
| | | (3) 地域の特色ある埋蔵文化財活用 | 21,312,000 | ▲ 8,196,000 | 13,116,000 | 11,673,671 | 0 |
| | | 国庫補助事業計 | 138,532,000 | ▲ 52,326,000 | 86,206,000 | 80,479,909 | 0 |
| 受託事業 | (受託元) 沖縄防衛局 | (1) 東普天間住宅地区発掘調査 | 28,000,000 | 0 | 28,000,000 | 22,264,000 | 0 |
| | (受託元) 沖縄総合事務局 | (2) 那覇空港自動車道(小禄道路)発掘調査 | 37,200,000 | 0 | 37,200,000 | 36,392,417 | 0 |
| | (受託元) 沖縄防衛局 | (3) トリイ通信施設内発掘調査 | 249,900,000 | 0 | 249,900,000 | 220,352,622 | 0 |
| | | 受託事業計 | 315,100,000 | 0 | 315,100,000 | 279,009,039 | 0 |
| 分任事業 | (分任元) 沖縄県土木建築部 | 首里城公園発掘調査 | 16,910,000 | ▲ 2,657,917 | 14,252,083 | 10,824,083 | 3,428,000 |
| | | 分任事業計 | 16,910,000 | ▲ 2,657,917 | 14,252,083 | 10,824,083 | 3,428,000 |
| 県単事業 | 学校建設費 | (1) 首里高校内埋蔵文化財発掘調査(現年) | 173,300,000 | 0 | 173,300,000 | 81,785,637 | 87,519,213 |
| | 学校建設費 | (2) 首里高校内埋蔵文化財発掘調査(明繰) | 58,981,360 | 0 | 58,981,360 | 53,972,447 | 0 |
| | 文化施設事業費 | 埋蔵文化財センター事業費 | 25,092,000 | 0 | 25,092,000 | 24,982,143 | 0 |
| | | 県単事業計 | 257,373,360 | 0 | 257,373,360 | 160,740,227 | 87,519,213 |
| 総合計 | | | 727,915,360 | ▲ 54,983,917 | 672,931,443 | 531,053,258 | 90,947,213 |

(2) 財源内訳

単位：円

| 事業区分 | 合計 | 国庫 | 特定財源 | 県債 | 一般 |
|-------|--------------|--------------|-------------|----|--------------|
| 当初予算額 | 727,915,360 | 97,364,000 | 315,100,000 | 0 | 315,451,360 |
| 補正額等 | ▲ 54,983,917 | ▲ 20,859,267 | 0 | 0 | ▲ 34,124,650 |
| 最終予算 | 672,931,443 | 76,504,733 | 315,100,000 | 0 | 281,326,710 |
| 決算額 | 531,053,258 | 64,793,733 | 279,009,039 | 0 | 190,678,486 |
| 繰越額 | 90,947,213 | 3,428,000 | 0 | 0 | 87,519,213 |

2. 発掘調査等

(1) 分布調査、試掘・確認調査

| No. | 遺跡名等 | 所在地 | 担当者 | 調査の目的 | 調査期間 | 調査面積 | 時代/種類 |
|-----|---|-------------------|------------------|-----------------|--------------------|--------------------|----------------------------|
| 1 | 伊佐上原遺跡群 A 地点、伊佐上原南遺跡（基地内文化財分布調査） | 宜野湾市（普天間飛行場内） | 知念隆博、羽方誠 | 埋蔵文化財の範囲確認 | 令和3年9月8日～令和4年3月15日 | 291 m ² | 縄文・グスク・近世・近代/集落 近代/生産遺跡 |
| 2 | レッドビーチ沖棧橋遺構、東奥武海岸遺跡、高田海岸沖海底遺跡（水中遺跡確認調査） | 金武町、久米島町、多良間村、石垣市 | 片桐千亜紀、亀島慎吾、具志堅清大 | 埋蔵文化財の有無確認、現状確認 | 令和3年7月～令和4年3月で随時 | — | グスク・近世・近代/水中遺跡 |

(2) 保存・活用目的の調査

| No. | 遺跡名等 | 所在地 | 担当者 | 調査の目的 | 調査期間 | 調査面積 | 時代/種類 |
|-----|------|-----|-----|-------|------|------|-------|
| | (なし) | | | | | | |

(3) 記録保存調査

| No. | 遺跡名等 | 所在地 | 担当者 | 調査の契機 | 調査期間 | 調査面積 | 時代/種類 |
|-----|--|------------------------------|-----------|--------------------|----------------------|------------------------|-------------------|
| 1 | 楚辺親見原遺跡 A 楚辺徳地原遺跡 A、E、G 渡具知後原遺跡 A 大湾親見原遺跡 A 大湾糸蒲原遺跡 A 古堅通事原遺跡 A | 沖縄県読谷村字楚辺 869 番地ほか（トリイ通信施設内） | 宮城淳一、太田樹也 | トリイ通信施設内における施設移設工事 | 令和3年8月30日～令和4年3月4日 | 約 5,291 m ² | 縄文・グスク・近世～近代/集落跡 |
| 2 | 鏡水原遺跡 | 沖縄県那覇市小禄鏡水 | 田村薫、城間宏次郎 | 那覇空港自動車道（小禄道路）建設 | 令和3年10月14日～令和4年1月28日 | 約 650 m ² | 縄文・近世～近代/散布地、生産遺跡 |
| 3 | 中城御殿跡、大美御殿跡（首里高校内） | 沖縄県那覇市首里真和志町2丁目43 | 玉城綾、奥平大貴 | 首里高校校舎改築 | 令和3年7月14日～令和3年10月26日 | 約 280 m ² | グスク・近世/屋敷跡 |

(4) 工事立会

| No. | 遺跡名等 | 所在地 | 担当者 | 契機 | 期間 | 面積 | 時代/種類 |
|-----|------------------|-------------------|----------|---------------|----------------------|----|------------|
| 1 | 中城御殿跡（首里高校内）、櫛園跡 | 沖縄県那覇市首里真和志町2丁目43 | 玉城綾、奥平大貴 | 旧校舎の地中梁及び基礎撤去 | 令和3年9月16日～10月14日（随時） | — | グスク・近世/屋敷跡 |

(5) 市町村支援

| No. | 遺跡名等 | 所在地 | 担当者 | 契機 | 期間 | 面積 | 時代/種類 |
|-----|----------|-----|------------------|------------|-----------------------|---|--------------|
| 1 | 屋良部沖海底遺跡 | 石垣市 | 片桐千亜紀、亀島慎吾、具志堅清大 | 埋蔵文化財の有無確認 | 令和3年11月24日～令和3年12月16日 | 61000 m ² (1ライン 230m×27ライン実施) | 近世/沈没船（水中遺跡） |

(6) 資料整理・報告書作成

| No. | 遺跡名・報告書名等 | 所在地 | 担当者 | 分析指導・協力等 | 経費負担 | 調査年度 | 刊行年月 |
|-----|---|----------------|---------------|-----------------------|---------------|-----------------------|-----------|
| 1 | 中城御殿跡（首里高校内）・櫛園跡－首里高校校舎改築に伴う発掘調査（2）－（第110集） | 那覇市 | 亀島慎吾 玉城綾 | 丸山真史（東海大学海洋学部准教授） | 県教育庁施設課 | 平成29・30 | 令和3年9月 |
| 2 | 普天間石川原第一遺跡・普天間グスタンニー遺跡・普天間下原古墓群－キャンプ瑞慶覧内東普天間住宅地区に係る文化財発掘調査報告書－（第111集） | 宜野湾市（キャンプ瑞慶覧内） | 具志堅清大 照屋匠美 | 山田浩世（沖縄県教育庁文化財課史料編集班） | 沖縄防衛局 | 平成29～令和元 | 令和4年3月 |
| 3 | 基地内文化財9－普天間飛行場内試掘調査総括報告書－（第112集） | 宜野湾市（普天間飛行場内） | 羽方誠 知念隆博 | － | 文化庁県 | 平成11～22 | 令和4年3月 |
| 4 | 中城御殿跡（県立博物館跡地）総括報告書 | 那覇市 | 田村薫 奥平大貴 | － | 県土木建築部（都市公園課） | 平成4～6・19～24・26～29・令和元 | 令和4年度刊行予定 |
| 5 | 基地内文化財10－喜友名前原第三遺跡・喜友名東原第三遺跡・喜友名東原第四遺跡－ | 宜野湾市（普天間飛行場内） | 知念隆博 羽方誠 | － | 文化庁県 | 平成25・26 | 令和4年度刊行予定 |
| 6 | 鏡水原遺跡－那覇空港自動車道（小禄道路）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（2）－ | 那覇市 | 田村薫 城間宏次郎 | － | 南部国道事務所 | 令和3 | 令和4年度刊行予定 |
| 7 | 中城御殿跡（首里高校内）－首里高校校舎改築に伴う発掘調査（3）－ | 那覇市 | 玉城綾 奥平大貴 | － | 県教育庁施設課 | 平成30～令和4予定 | 令和5年度刊行予定 |
| 8 | 楚辺親見原遺跡 楚辺徳地原遺跡 | 読谷村 | 宮城淳一 照屋匠美 | － | 沖縄防衛局 | 令和元～令和3 | 令和6年度刊行予定 |

※分析指導・協力等は令和3年度の実績

3. 普及・活用

令和3年度は、新型コロナウイルスの流行と空調設備更新工事のため、当センターは、5月23日から7月11日、7月22日から9月30日、11月16日から12月1日の期間、計111日間臨時休所となった。そのため、当初予定していた夏休み体験学習と第87回文化講座は開催中止となった。また、例年開催している首里城京の内跡出土品展は、担当職員が感染症対策課との兼務発令となったため、開催を中止せざるを得なかった。

企画展については、2つの企画展を開催した。「発掘調査速報2021」は、会期中で臨時休所となり、計13日間の開催となった。また企画展「海から見た沖縄戦－USSエモンズと日本軍特攻機の戦闘」は会期が10月12日から11月28日までの予定だったが、1月9日まで延長して開催した。

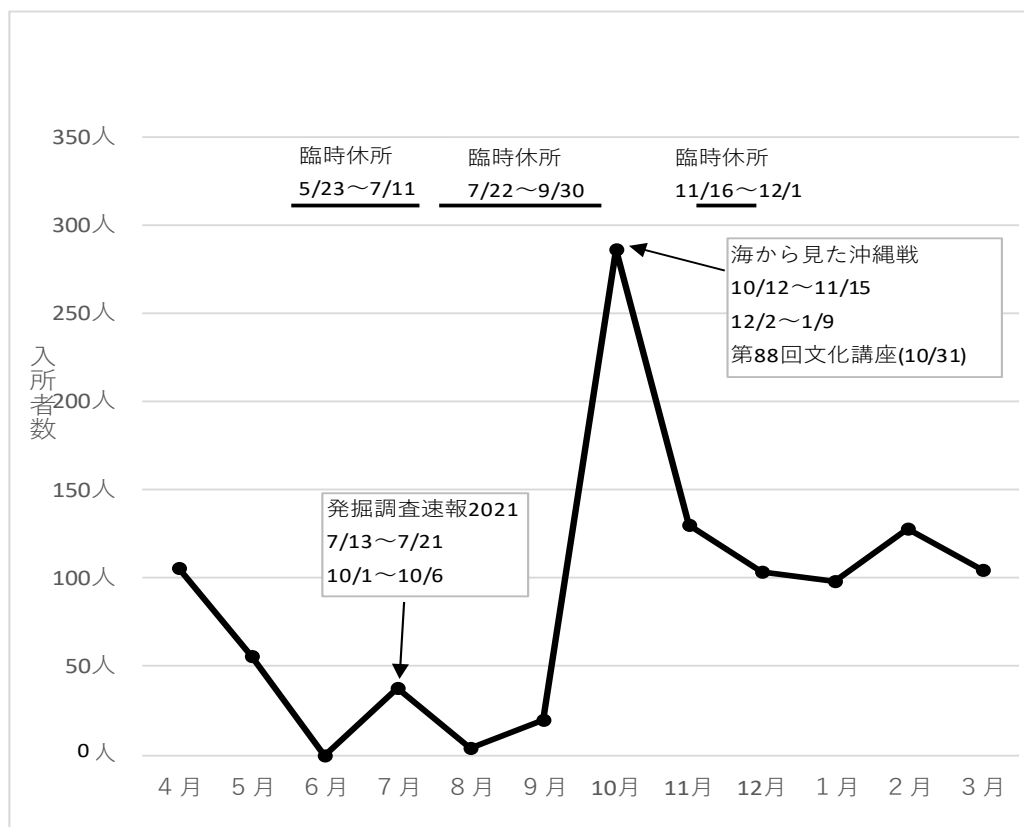
文化講座に関しては、新型コロナウイルス対策のため、事前予約制、定員 66 名の形で実施することになり、第 88 回文化講座は開催することができた。第 88 回文化講座は、当センターの片桐千亜紀を講師に、「沈没船から復元された USS エモンズと日本軍特攻機の戦闘」と題して開催した。

(1) 入所者一覧

単位：人

| 月 | 一般見学 | | | | | | 施設利用 ※ | 総計 |
|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|------|
| | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 大学生 | 一般 | 合計 | | |
| 4月 | 19 | 1 | 1 | 3 | 71 | 95 | 11 | 106 |
| 5月 | 4 | 2 | 0 | 5 | 45 | 56 | 0 | 56 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 2 | 0 | 0 | 1 | 35 | 38 | 0 | 38 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 |
| 10月 | 15 | 0 | 0 | 22 | 154 | 191 | 96 | 287 |
| 11月 | 12 | 1 | 0 | 39 | 69 | 121 | 9 | 130 |
| 12月 | 3 | 0 | 0 | 3 | 84 | 90 | 14 | 104 |
| 1月 | 0 | 0 | 2 | 3 | 82 | 87 | 11 | 98 |
| 2月 | 14 | 13 | 2 | 4 | 47 | 80 | 48 | 128 |
| 3月 | 8 | 2 | 1 | 2 | 66 | 79 | 26 | 105 |
| 合計 | 77 | 19 | 6 | 82 | 653 | 837 | 239 | 1076 |

※文化講座、資料閲覧、研修室利用等で来所した人数



(2) 団体見学一覧

| No. | 見学月日 | 曜日 | 団体名 | 参加人数 (人) |
|-----|--------|----|----------------------|-------------|
| 1 | 5月6日 | 木 | 琉球大学国際地域創造学部 | 11 |
| 2 | 11月10日 | 水 | 琉球大学国際地域創造学部「人類学入門」① | 16 |
| 3 | 11月17日 | 水 | 琉球大学国際地域創造学部「人類学入門」② | 16 |
| 4 | 11月24日 | 水 | 琉球大学国際地域創造学部「人類学入門」③ | 16 |
| 5 | 2月9日 | 水 | 沖縄市適応教室 すだち | 16 |
| 6 | 3月18日 | 水 | うらおそい歴史ガイドの会 | 10 |
| 合 計 | | | | 85 |

(3) 活動実績

① 企画展

| | 名 称 | 期 間 | 観覧者数 (人) |
|-----|------------------------------|---|-------------|
| 1 | 発掘調査速報 2021 | 令和3年7月13日～7月21日 令和3年10月1日～10月6日 | 58 |
| 2 | 海から見た沖縄戦－USS エモンズと日本軍特攻機の戦闘－ | 令和3年10月12日～11月15日 令和3年12月2日～令和4年1月9日 | 502 |
| 3 | 令和3年度重要文化財出土品展「首里城京の内跡出土品展」 | 新型コロナウイルス感染症対応に伴い中止 | / |
| 合 計 | | | 560 |

② 埋文コレクション

| No. | 名 称 | 期 間 |
|-----|--------|--------------------|
| 50 | ホラガイの笛 | 令和3年4月6日～令和4年3月31日 |

③ 文化講座

| 回 | 名 称 | 開催日 | 講 師 | 参加者数 (人) |
|------|-------------------------------|---------------------|-------|-------------|
| 第87回 | 発掘調査速報 2021 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 | | / |
| 第88回 | 沈没船から復元された USS エモンズと日本軍特攻機の戦闘 | 令和3年10月31日 | 片桐千亜紀 | 40 |
| 合 計 | | | | 40 |

④ 夏休み体験学習

| No. | 名 称 | 開催日 |
|-----|----------------|-------------------|
| 1 | 夏休み体験学習「土器づくり」 | 令和3年8月1日、29日 (中止) |

⑤ 職場体験

| No. | 学校名 | 期 間 | 参加人数 (予定) |
|-----|------------------|------------------|--------------|
| 1 | 西原町立西原東中学校（1学年） | 令和3年5月13～14日（中止） | 2 |
| 2 | 西原町立西原中学校（2学年） | 令和3年6月22～25日（中止） | 2 |
| 3 | 沖縄国際大学（4回生） | 令和3年8月12～26日（中止） | 1 |
| 4 | 北中城村立北中城小学校（6年生） | 令和4年1月19日（中止） | 1 |
| 5 | 北中城村立北中城中学校（1年生） | 令和4年1月25～27日（中止） | 1 |

⑥ 出前授業

| No. | 学校名 | 内 容 | 実施日 |
|-----|-------------|---------|------------|
| 1 | 久米島町立久米島小学校 | 沖縄の先史時代 | 令和3年12月22日 |

⑦ 現地見学会

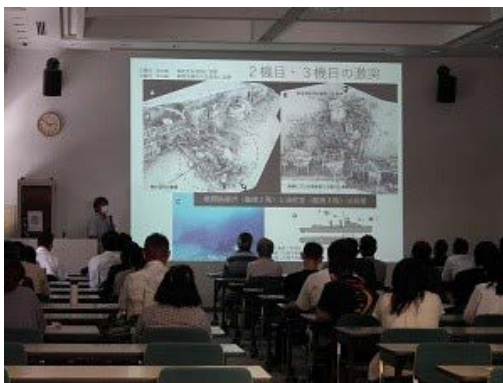
| No. | 名 称 | 場 所 | 開催日 | 参加人数 (人) |
|-----|-------|-----|----------|-------------|
| 1 | 鏡水原遺跡 | 那覇市 | 令和4年1月9日 | 21 |



発掘調査速報 2021



海から見た沖縄戦



第 88 回文化講座



鏡水原遺跡現地見学会



出前授業



団体見学

4. 資料の貸出・利用

(1) 資料の貸出件数

| 機関 期間 | 沖縄県立 博物館・美術館 | 県内博物館・ 教育委員会 | 県外博物館 | 国立博物館 | 海外博物館 | その他 研究機関等 | 小計 |
|----------|-----------------|-----------------|-------|-------|-------|--------------|--------|
| 通年 | 2 (1) | 8 | 0 | 2 | 0 | 0 | 12 (1) |
| 短期 | 1 | 7 | 0 | 4 | 1 (1) | 10 | 23 (1) |
| 合計 | 3 (1) | 15 | 0 | 6 | 1 (1) | 10 | 35 (2) |

※ () の数は重要文化財の貸出件数

(2) 資料の利用件数

| 機関 目的 | 県内博物館・ 教育委員会 | 県外博物館・ 教育委員会 | 国内の大学、 研究者等 | 海外の研究者等 | 報道機関 | その他、 出版社等 | 小計 |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|---------|------|--------------|----|
| 遺物閲覧 | 3 | 3 | 17 | 0 | 1 | 1 | 25 |
| 図・写真の 掲載 | 11 | 0 | 7 | 1 | 7 | 16 | 42 |
| 合計 | 14 | 3 | 24 | 1 | 8 | 17 | 67 |

5. 研修・職員派遣

(1) 研修

| No. | 名称 | 期間 | 参加者 |
|-----|------|----|-----|
| | (なし) | | |

(2) 職員派遣

| No. | 依頼内容 | 派遣先・依頼機関 | 期間 | 派遣職員 |
|-----|----------------------------|-------------------------|---|------------------|
| 1 | 第34回 糸数城跡整備委員会 | 南城市役所・南城市教育委員会 | 令和3年10月7日 | 金城亀信 |
| 2 | 根謝銘グスク陶磁器等の同定 | 沖縄県立埋蔵文化財センター・大宜味村教育委員会 | 令和3年11月1日～30日の内、5日間 | 金城亀信 |
| 3 | 南山グスク出土陶磁器などの分析・指導 | 糸満市教育委員会文化財資料室・糸満市教育委員会 | 令和3年11月30日～12月21日の随時 | 金城亀信 |
| 4 | 石垣市屋良部沖海底遺跡範囲確認調査に係る潜水調査支援 | 石垣市・沖縄県教育庁文化財課 | 令和3年11月24～27日、11月29～12月2日、12月6～9日、12月14～17日 | 片桐千亜紀、亀島慎吾、具志堅清大 |

| No. | 依頼内容 | 派遣先・依頼機関 | 期間 | 派遣職員 |
|-----|----------------------|----------------------------|---------------|------------------|
| 5 | 令和3年度 徳之島水中遺跡調査指導委員会 | 徳之島島内・天城町教育委員会 | 令和3年12月10～12日 | 片桐千亜紀 |
| 6 | 第35回 糸数城跡整備委員会 | 南城市役所・南城市教育委員会 | 令和4年2月16日 | 金城亀信 |
| 7 | 石垣島カラダキ洞穴遺跡の発掘調査 | 石垣市カラダキ洞穴・九州大学大学院比較社会文化研究所 | 令和4年3月12～17日 | 片桐千亜紀、亀島慎吾、具志堅清大 |
| 8 | 第36回 糸数城跡整備委員会 | 南城市役所・南城市教育委員会 | 令和4年3月15日 | 金城亀信 |

III 関係資料

1. 法規

- (1) 沖縄県立教育機関設置条例 (昭和47年5月15日) (抄)
(条例第24号)

最終改正 平成30年7月20日条例第57号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、教育機関の設置について、別に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(埋蔵文化財センター)

第3条 埋蔵文化財(出土品を含む。以下同じ。)の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資するため、埋蔵文化財センターを次のとおり設置する。

| 名称 | 位置 |
|---------------|---------------|
| 沖縄県立埋蔵文化財センター | 西原町字上原193番地の7 |

2 埋蔵文化財センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用に関すること。
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及に関すること。
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 前2条の教育機関に事務職員その他の所要の職員を置く。

(2) 沖縄県立教育機関組織規則 (昭和47年5月15日) (抄)
教育委員会規則第2号

最終改正 令和2年3月31日教育委員会規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、沖縄県立教育機関設置条例(昭和47年沖縄県条例第24号)、沖縄県立離島児童生徒支援センターの設置及び管理に関する条例(平成27年沖縄県条例第51号)及び沖縄県立図書館の設置及び管理に関する条例(平成30年沖縄県条例第57号)に規定する教育機関の組織及び分掌事務その他必要な事項を定めるものとする。

(埋蔵文化財センター)

第4条 沖縄県立埋蔵文化財センター(以下「埋蔵文化財センター」という。)に、次の班を置く。

総務班

調査班

2 総務班の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 予算、決算その他会計事務に関すること。
- (2) 公印の管守に関すること。
- (3) 施設設備の管理に関すること。
- (4) 職員の服務及び福利厚生に関すること。
- (5) 発掘調査に要する会計年度任用職員の任用に関すること。
- (6) 他班の所掌に属さない事務に関すること。

3 調査班の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用に関すること。
- (3) 埋蔵文化財に関する情報処理に関すること。
- (4) 埋蔵文化財に関する展示、広報及び講演会等に関すること。
- (5) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の貸出し及び利用に関すること。
- (6) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修に関すること。
- (7) 史跡整備に関すること

(3) 沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則 (平成12年3月30日
教育委員会規則第19号)

最終改正 令和3年3月26日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、沖縄県立埋蔵文化財センター（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(管理の責任)

第2条 所長は、埋蔵文化財センターの施設、設備（備品を含む。以下同じ。）を管理し、その整備に努めなければならない。

(諸帳簿)

第3条 所長は、施設、設備に関する諸帳簿を整理し、その現有状況を明らかにしておかなければならない。

(施設の損傷等報告)

第4条 所長は、火災その他の事由により施設、設備の全部若しくは一部が損傷し、又は亡失した場合には、速やかに教育長に報告し、その指示を受けなければならない。

(警備防災の計画)

第5条 所長は、消防法（昭和23年法律第186号）第8条第1項の規定により防火管理者を定めたときは、教育長に報告しなければならない。

2 所長は、各年度の始めに警備及び防火その他の防災の計画を作成し、教育長に報告しなければならない。

(当直)

第6条 所長は、休日その他正規の勤務時間外において職員に輪番で日直又は宿直職務を命ずることができる。

2 前項に定めるもののほか、宿日直勤務については、職員服務規程（昭和47年沖縄県教育委員会訓令第4号）の定めるところによる。

(職員の服務等)

第7条 職員の服務、勤務時間及び勤務時間の割振りについては、別に定めるところによる。

(文書)

第8条 文書の処理については、教育庁文書管理規程（昭和53年沖縄県教育委員会訓令第2号）の定めるところによる。

(開所時間)

第9条 埋蔵文化財センターの開所時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、所長は、特に必要と認めたときはこれを変更することができる。

(休所日)

第10条 埋蔵文化財センターの休所日は、次のとおりとする。

(1) 定期休所日 月曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（こどもの

日及び文化の日を除く。)

(3) 慰霊の日 6月23日

(4) 年始休所日 1月2日から1月4日までの日

(5) 年末休所日 12月28日から12月31日までの日

(6) 臨時休所日 特別の事情により、所長が休所を必要と認めた日

2 前項第2号及び第3号に規定する休所日が定期休所日に当たるときは、その日の後日において最も近い休所日でない日をもって、これに替えるものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、所長が特に必要と認めた場合は、開所することができる。
(資料の寄贈及び寄託)

第11条 埋蔵文化財センターに、埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料(以下「資料」という。)を寄贈又は寄託しようとする者は、資料寄贈申込書(第1号様式)又は資料寄託申請書(第2号様式)を提出しなければならない。

2 受託を決定したものについては、資料受託承認書(第3号様式)を交付するものとする。

3 前項の規定により、寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。
(寄託資料の保管)

第12条 寄託された資料の管理は、埋蔵文化財センター所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

(寄託資料の返付)

第13条 寄託資料は、寄託者の請求又は埋蔵文化財センターの都合により返付できるものとする。

(経費の負担)

第14条 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、所長が必要と認めた場合はこの限りでない。

第15条 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し又は損傷したときは、埋蔵文化財センターは損害賠償の責を負わない。

(資料の利用)

第16条 埋蔵文化財センター内において資料を利用しようとする者は、資料利用許可申請書(第4号様式)を提出し、所長の許可を受けなければならない。

(資料の貸出し)

第17条 資料の貸出しを受けようとする者は、資料貸出許可申請書(第5号様式)を提出し、所長の許可を受けなければならない。

2 貸出期間は、60日以内とする。ただし、所長が特に必要と認めたときは、これを延長することができる。

3 この規則に定めるもののほか、資料の貸出しに関し必要な事項は、所長が別に定める。
(入所の禁止等)

第18条 所長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入所を禁じ、又は退所を命ずることができる。

(1) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがある者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある者

(3) 前2号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障がある行為をするおそれがある者
(施設使用の許可等)

第19条 埋蔵文化財センターの施設(研修室及び会議室)を使用しようとする者は、あらかじめ施設使用許可申請書(第6号様式)を提出し、所長の許可を受けなければならない。

2 所長は、次の各号のいずれかに該当するもの等、その使用目的が埋蔵文化財センターの設置目的に合致し、住民の教育、学術及び文化の発展に寄与するものと認められない場合には、埋蔵文化財センターの施設の使用を許可することができない。

- (1) 専ら営利を目的とするもの
- (2) 特定の政党の利害に関するもの又は公務の選挙に関し、特定の候補者を支持するもの
- (3) 特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支持するもの
- (4) 社会教育上不相当であると認められるもの

(原状回復の義務)

第20条 使用者は、施設の使用を終えたときは、使用に係る施設及び付属設備を原状に復さなければならない。

(損害の賠償)

第21条 観覧者又は使用者が施設、設備及び資料等を損傷し、若しくは紛失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、やむを得ない理由があると認めるときは、所長は、これを減額し又は免除することができる。

(利用状況の報告)

第22条 所長は、埋蔵文化財センターの月別利用状況報告書を翌月10日までに、教育長に提出しなければならない。

(補則)

第23条 この規則の施行に関し、必要な事項は、教育長の承認を得て所長が定める。

附 則

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成21年3月24日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月26日教育委員会規則第2号)

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

2. 収蔵資料の遺跡一覧

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|---------------|------|
| 1 | 安田遺跡 | 国頭村 |
| 2 | 阿良第二貝塚 | 国頭村 |
| 3 | 宇佐浜遺跡 | 国頭村 |
| 4 | 宇佐浜貝塚 | 国頭村 |
| 5 | 宇佐浜B貝塚 | 国頭村 |
| 6 | 宇佐浜海岸遺物散布地 | 国頭村 |
| 7 | 奥川河口遺物散布地 | 国頭村 |
| 8 | 奥第二貝塚 | 国頭村 |
| 9 | 奥第四貝塚 | 国頭村 |
| 10 | カヤウチバンタ遺跡 | 国頭村 |
| 11 | カヤウチバンタ貝塚 | 国頭村 |
| 12 | 宜名真沖海底遺跡 | 国頭村 |
| 13 | 佐手貝塚 | 国頭村 |
| 14 | 謝敷海岸遺物散布地 | 国頭村 |
| 15 | 田名貝塚 | 国頭村 |
| 16 | 桃原海岸遺物散布地 | 国頭村 |
| 17 | 桃原帆原水田遺跡 | 国頭村 |
| 18 | 辺土名兼久遺物散布地 | 国頭村 |
| 19 | イラブチバンタ遺跡 | 大宜味村 |
| 20 | 上原海岸遺物散布地 | 大宜味村 |
| 21 | 喜如嘉海岸遺物散布地 | 大宜味村 |
| 22 | 喜如嘉貝塚 | 大宜味村 |
| 23 | 田嘉里遺物散布地 | 大宜味村 |
| 24 | 根謝銘グスク | 大宜味村 |
| 25 | 今泊海岸陶磁器散布地 | 今帰仁村 |
| 26 | ウチグスク | 今帰仁村 |
| 27 | 古宇利原B遺跡 | 今帰仁村 |
| 28 | 古宇利原C遺跡（大泊遺跡） | 今帰仁村 |
| 29 | シイナグスク | 今帰仁村 |
| 30 | 長根原遺跡 | 今帰仁村 |
| 31 | 今帰仁城跡 | 今帰仁村 |
| 32 | 西長浜原遺跡 | 今帰仁村 |
| 33 | 松堂原貝塚 | 今帰仁村 |
| 34 | アンチの上貝塚 | 本部町 |
| 35 | アンチ原遺跡 | 本部町 |
| 36 | 兼久原貝塚 | 本部町 |
| 37 | 具志川御嶽 | 本部町 |
| 38 | 具志堅貝塚 | 本部町 |
| 39 | 礎摩原遺跡 | 本部町 |
| 40 | 瀬底貝塚 | 本部町 |
| 41 | 瀬底グスク | 本部町 |
| 42 | 瀬底島沖海底遺跡 | 本部町 |
| 43 | 知場塚原遺跡 | 本部町 |
| 44 | 富盛グスク | 本部町 |
| 45 | 浜元貝塚 | 本部町 |
| 46 | 浜元サチピン貝塚 | 本部町 |
| 47 | 備瀬貝塚 | 本部町 |
| 48 | 備瀬ナハヤ遺跡 | 本部町 |
| 49 | 辺名地遺跡 | 本部町 |
| 50 | 松部原遺跡 | 本部町 |
| 51 | 水納島沖海底遺跡 | 本部町 |
| 52 | 本部具志川森グスク | 本部町 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|------------|------|
| 53 | 屋比久原遺跡 | 本部町 |
| 54 | 山川垣内権現洞窟 | 本部町 |
| 55 | 山川港原遺跡 | 本部町 |
| 56 | 嘉陽貝塚 | 名護市 |
| 57 | 古我知焼窯跡 | 名護市 |
| 58 | 湖辺底港遺物散布地 | 名護市 |
| 59 | 墨屋原遺跡 | 名護市 |
| 60 | 名護貝塚 | 名護市 |
| 61 | 熱田貝塚 | 恩納村 |
| 62 | 熱田第二貝塚 | 恩納村 |
| 63 | 伊武部貝塚 | 恩納村 |
| 64 | 久良波貝塚 | 恩納村 |
| 65 | 塩屋貝塚 | 恩納村 |
| 66 | ジムン海岸遺物散布地 | 恩納村 |
| 67 | 谷茶貝塚 | 恩納村 |
| 68 | 当袋川河口遺物散布地 | 恩納村 |
| 69 | 仲泊遺跡 | 恩納村 |
| 70 | 仲泊貝塚 | 恩納村 |
| 71 | 富着古島遺跡 | 恩納村 |
| 72 | 前川河口遺物散布地 | 恩納村 |
| 73 | 松田遺跡 | 宜野座村 |
| 74 | 前原貝塚 | 宜野座村 |
| 75 | 金武グスク | 金武町 |
| 76 | 金武鍾乳洞遺跡 | 金武町 |
| 77 | 屋嘉部落鍛冶屋跡 | 金武町 |
| 78 | アキナ原遺跡 | 伊江村 |
| 79 | アッチ浜貝塚 | 伊江村 |
| 80 | 阿良貝塚 | 伊江村 |
| 81 | 阿良第二貝塚 | 伊江村 |
| 82 | 阿良東遺跡 | 伊江村 |
| 83 | 伊江グスク | 伊江村 |
| 84 | 親竹鹿化石出土地 | 伊江村 |
| 85 | ガデナ原遺跡 | 伊江村 |
| 86 | カヤ原遺跡A地点 | 伊江村 |
| 87 | カヤ原遺跡B地点 | 伊江村 |
| 88 | 具志原貝塚 | 伊江村 |
| 89 | 具志原第二貝塚 | 伊江村 |
| 90 | 小浜原遺跡 | 伊江村 |
| 91 | ハシラ遺跡 | 伊江村 |
| 92 | 寺コシ遺跡 | 伊江村 |
| 93 | ナガラ原西貝塚 | 伊江村 |
| 94 | ナガラ原東貝塚 | 伊江村 |
| 95 | 西江上遺跡 | 伊江村 |
| 96 | 西崎遺跡 | 伊江村 |
| 97 | 浜崎貝塚 | 伊江村 |
| 98 | 東江上遺跡 | 伊江村 |
| 99 | フナズ遺跡 | 伊江村 |
| 100 | フナズ西遺跡 | 伊江村 |
| 101 | 馬ノ鼻石器出土地 | 伊江村 |
| 102 | 湧出海岸陶磁器散布地 | 伊江村 |
| 103 | 渡り地原遺跡 | 伊江村 |
| 104 | アカジャンガー貝塚 | うるま市 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|----------------|------|
| 105 | 安慶名城跡 | うるまし |
| 106 | アタナジ洞貝塚 | うるまし |
| 107 | 新川グスク | うるまし |
| 108 | 伊計大泊遺跡 | うるまし |
| 109 | 伊計貝塚 | うるまし |
| 110 | 伊計グスク | うるまし |
| 111 | 池味貝塚 | うるまし |
| 112 | 石川貝塚 | うるまし |
| 113 | 石川南貝塚 | うるまし |
| 114 | 伊波貝塚 | うるまし |
| 115 | 伊波後原遺跡 | うるまし |
| 116 | 伊波城跡 | うるまし |
| 117 | 伊波東遺跡 | うるまし |
| 118 | 上江洲貝塚 | うるまし |
| 119 | 浮原島遺跡 | うるまし |
| 120 | 宇堅貝塚 | うるまし |
| 121 | 宇堅第二貝塚 | うるまし |
| 122 | 宇堅第四貝塚 | うるまし |
| 123 | 内間部落内遺跡 | うるまし |
| 124 | 江洲グスク | うるまし |
| 125 | 大田貝塚 | うるまし |
| 126 | 勝連城跡 | うるまし |
| 127 | 加天良原貝塚 | うるまし |
| 128 | 兼筒段グスク | うるまし |
| 129 | 喜屋武グスク | うるまし |
| 130 | 久々釣遺跡 | うるまし |
| 131 | 具志川グスク | うるまし |
| 132 | 古我地原貝塚 | うるまし |
| 133 | 古我地原内古墓 | うるまし |
| 134 | 昆布貝塚 | うるまし |
| 135 | 神山遺跡 | うるまし |
| 136 | シヌグ堂遺跡 | うるまし |
| 137 | タカビラ原遺跡 | うるまし |
| 138 | 高嶺遺跡 | うるまし |
| 139 | 田場遺跡 | うるまし |
| 140 | 地荒原遺跡 | うるまし |
| 141 | 地荒原貝塚 | うるまし |
| 142 | 津堅島キガ浜貝塚 | うるまし |
| 143 | 津堅第二貝塚 | うるまし |
| 144 | 津堅第三貝塚 | うるまし |
| 145 | 泊グスク | うるまし |
| 146 | 仲原遺跡 | うるまし |
| 147 | ナチジングスク | うるまし |
| 148 | 苦増原遺跡 | うるまし |
| 149 | 西門原遺跡 | うるまし |
| 150 | 饒辺貝塚 | うるまし |
| 151 | 南風原古島遺跡 | うるまし |
| 152 | 浜貝塚 | うるまし |
| 153 | 浜比嘉中の御嶽洞窟遺跡 | うるまし |
| 154 | 浜比嘉浜川洞窟遺跡 | うるまし |
| 155 | 浜比嘉はまちゃん洞窟遺跡 | うるまし |
| 156 | 浜比嘉ミーハンチャー洞窟遺跡 | うるまし |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|-----------------|------|
| 157 | 比嘉グスク | うるまし |
| 158 | 平敷屋トウバル遺跡 | うるまし |
| 159 | 平敷屋古島遺跡 | うるまし |
| 160 | 平安座東グスク | うるまし |
| 161 | 平安座東ハンタ原遺跡 | うるまし |
| 162 | 平安座西グスク | うるまし |
| 163 | 平安座グスク | うるまし |
| 164 | 平安名遺跡 | うるまし |
| 165 | 平安名第二貝塚 | うるまし |
| 166 | 平安名第三貝塚 | うるまし |
| 167 | 南浮原島沖海底遺跡 | うるまし |
| 168 | 美原遺跡 | うるまし |
| 169 | 宮城遺跡 | うるまし |
| 170 | 藪地貝塚 | うるまし |
| 171 | ヤブチ洞穴遺跡 | うるまし |
| 172 | ヤブチ洞穴前遺物散布地 | うるまし |
| 173 | 山城嶽周辺遺物散布地 | うるまし |
| 174 | 明道遺跡 | 沖繩市 |
| 175 | 越来グシク | 沖繩市 |
| 176 | 竹下遺跡 | 沖繩市 |
| 177 | 知花グシク | 沖繩市 |
| 178 | 知花遺跡 | 沖繩市 |
| 179 | 桃原洞穴遺跡 | 沖繩市 |
| 180 | 仲宗根貝塚 | 沖繩市 |
| 181 | 室川貝塚 | 沖繩市 |
| 182 | 八重島貝塚 | 沖繩市 |
| 183 | 赤犬子遺跡 | 読谷村 |
| 184 | 大当原貝塚 | 読谷村 |
| 185 | 川平原貝塚 | 読谷村 |
| 186 | 喜納窯跡 | 読谷村 |
| 187 | 座喜味城跡 | 読谷村 |
| 188 | 長浜貝塚 | 読谷村 |
| 189 | 連道原貝塚 | 読谷村 |
| 190 | 木綿原遺跡 | 読谷村 |
| 191 | 嘉手納貝塚 | 嘉手納町 |
| 192 | 野国貝塚B地点 | 嘉手納町 |
| 193 | 屋良グスク | 嘉手納町 |
| 194 | インディアン・オーク号の座礁地 | 北谷町 |
| 195 | 後兼久原遺跡 | 北谷町 |
| 196 | 砂辺サーク原遺跡 | 北谷町 |
| 197 | 安谷屋グスク | 北中城村 |
| 198 | 大城グスク | 北中城村 |
| 199 | 荻道遺跡 | 北中城村 |
| 200 | 荻堂貝塚 | 北中城村 |
| 201 | 甲斐川原遺跡 | 北中城村 |
| 202 | ヒニグスク | 北中城村 |
| 203 | 若松遺跡 | 北中城村 |
| 204 | 新垣グスク | 中城村 |
| 205 | 上津覇遺跡 | 中城村 |
| 206 | 中城城跡 | 中城村 |
| 207 | 登又遺跡 | 中城村 |
| 208 | イシグスク | 西原町 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|-------------|------|
| 209 | 内間御殿 | 西原町 |
| 210 | 我謝遺跡 | 西原町 |
| 211 | 棚原グスク | 西原町 |
| 212 | 与那城貝塚 | 西原町 |
| 213 | 与那城散布地 | 西原町 |
| 214 | 安仁屋東原古墓群 | 宜野湾市 |
| 215 | 安仁屋トゥンヤマ遺跡 | 宜野湾市 |
| 216 | 新城大道原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 217 | 新城大道原第三遺跡 | 宜野湾市 |
| 218 | 新城下原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 219 | 伊佐上原遺跡群 | 宜野湾市 |
| 220 | 伊佐後原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 221 | 伊佐前原古墓群 | 宜野湾市 |
| 222 | 伊佐前原第一遺跡 | 宜野湾市 |
| 223 | 大謝名軍花原第一遺跡 | 宜野湾市 |
| 224 | 大謝名軍花原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 225 | 大山貝塚 | 宜野湾市 |
| 226 | 大山加良当原第四遺跡 | 宜野湾市 |
| 227 | 大山勢頭原第三遺跡 | 宜野湾市 |
| 228 | 大山岳之佐久原第一遺跡 | 宜野湾市 |
| 229 | 大山東方丘陵古墓群 | 宜野湾市 |
| 230 | 大山富盛原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 231 | 大山苧久保原第一遺跡 | 宜野湾市 |
| 232 | 神山黒数原古墓群 | 宜野湾市 |
| 233 | 神山黒数原第一遺跡 | 宜野湾市 |
| 234 | 神山黒数原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 235 | 神山古集落 | 宜野湾市 |
| 236 | 喜友名東原第三遺跡 | 宜野湾市 |
| 237 | 喜友名東原第四遺跡 | 宜野湾市 |
| 238 | 喜友名アジミー洞穴遺跡 | 宜野湾市 |
| 239 | 喜友名西原遺跡 | 宜野湾市 |
| 240 | 喜友名泉石畳道 | 宜野湾市 |
| 241 | 喜友名貝塚 | 宜野湾市 |
| 242 | 喜友名グスク | 宜野湾市 |
| 243 | 喜友名古水田跡 | 宜野湾市 |
| 244 | 喜友名下原第一遺跡 | 宜野湾市 |
| 245 | 喜友名下原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 246 | 喜友名前原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 247 | 喜友名前原第三遺跡 | 宜野湾市 |
| 248 | 喜友名山川原第三遺跡 | 宜野湾市 |
| 249 | 喜友名山川原第七遺跡 | 宜野湾市 |
| 250 | 喜友名山川原丘陵古墓群 | 宜野湾市 |
| 251 | 普天間石川原遺跡 | 宜野湾市 |
| 252 | 普天間石川原第一遺跡 | 宜野湾市 |
| 253 | 普天間石川原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 254 | 普天間旧道路 | 宜野湾市 |
| 255 | 普天間宮洞穴遺跡 | 宜野湾市 |
| 256 | 普天間後原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 257 | 普天間グスクンニー遺跡 | 宜野湾市 |
| 258 | 普天間古集落遺跡 | 宜野湾市 |
| 259 | 普天間下原第二遺跡 | 宜野湾市 |
| 260 | 普天間下原古墓群 | 宜野湾市 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 | |
|-----|-----------|--------------------------------|-----|
| 261 | 拝山遺跡 | 浦添市 | |
| 262 | 浦添貝塚 | 浦添市 | |
| 263 | 浦添城跡 | 浦添市 | |
| 264 | 城間第一洞穴遺跡 | 浦添市 | |
| 265 | 沢岬遺跡 | 浦添市 | |
| 266 | 牧港貝塚 | 浦添市 | |
| 267 | 牧港第二貝塚 | 浦添市 | |
| 268 | 真久原遺跡 | 浦添市 | |
| 269 | 綾門大道跡 | 那覇市 | |
| 270 | 東村跡 | 那覇市 | |
| 271 | 天久貝塚 | 那覇市 | |
| 272 | 御茶屋御殿跡 | 那覇市 | |
| 273 | 円覚寺跡 | 那覇市 | |
| 274 | 大嶺村跡 | 那覇市 | |
| 275 | 御物グスク | 那覇市 | |
| 276 | 鏡水箕隅原A遺跡 | 那覇市 | |
| 277 | 城岳貝塚 | 那覇市 | |
| 278 | 崎樋川貝塚 | 那覇市 | |
| 279 | 識名園 | 那覇市 | |
| 280 | 識名貝塚 | 那覇市 | |
| 281 | 識名シーマ御嶽遺跡 | 那覇市 | |
| 282 | 識名原遺跡 | 那覇市 | |
| 283 | 首里城跡 | 東のアザナ地区 | 那覇市 |
| 284 | 首里城跡 | 東のアザナ北地区 | 那覇市 |
| 285 | 首里城跡 | 上の毛及び周辺地区 | 那覇市 |
| 286 | 首里城跡 | 西のアザナ地区 | 那覇市 |
| 287 | 首里城跡 | 右掖門及び周辺地区 | 那覇市 |
| 288 | 首里城跡 | 御庭跡・奉神門跡 | 那覇市 |
| 289 | 首里城跡 | 御内原地区 | 那覇市 |
| 290 | 首里城跡 | 御内原北地区 | 那覇市 |
| 291 | 首里城跡 | 御内原西地区 | 那覇市 |
| 292 | 首里城跡 | 御内原東地区 | 那覇市 |
| 293 | 首里城跡 | 大台所、料理座地区 | 那覇市 |
| 294 | 首里城跡 | 歓会門・久慶門地区 | 那覇市 |
| 295 | 首里城跡 | 管理用道路地区 | 那覇市 |
| 296 | 首里城跡 | 京の内地区 | 那覇市 |
| 297 | 首里城跡 | 黄金御殿地区 | 那覇市 |
| 298 | 首里城跡 | 城の下地区 | 那覇市 |
| 299 | 首里城跡 | 継世門周辺地区 | 那覇市 |
| 300 | 首里城跡 | 継世門北地区 | 那覇市 |
| 301 | 首里城跡 | 下之御庭首里森御嶽 | 那覇市 |
| 302 | 首里城跡 | 下之御庭跡・用物座跡・瑞泉門跡・漏刻門跡・廣福門跡・木曳門跡 | 那覇市 |
| 303 | 首里城跡 | 淑順門地区 | 那覇市 |
| 304 | 首里城跡 | 淑順門西・奉神門埋甕地区 | 那覇市 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|-------------------------------|------|
| 305 | 首里城跡 淑順門東地区 | 那覇市 |
| 306 | 首里城跡 守礼門東側地区・ 真珠道跡起点及び周辺地区 | 那覇市 |
| 307 | 首里城跡 書院・鎖之間地区 | 那覇市 |
| 308 | 首里城跡 城郭南側下地区 | 那覇市 |
| 309 | 首里城跡 正殿地区 | 那覇市 |
| 310 | 首里城跡 銭蔵地区 | 那覇市 |
| 311 | 首里城跡 銭蔵東地区 | 那覇市 |
| 312 | 首里城跡 南殿・北殿跡 | 那覇市 |
| 313 | 首里城跡 二階殿地区 | 那覇市 |
| 314 | 首里当蔵旧水路 | 那覇市 |
| 315 | 玉陵 | 那覇市 |
| 316 | 天界寺跡 | 那覇市 |
| 317 | 鳥堀瓦窯跡 | 那覇市 |
| 318 | 中城御殿跡 | 那覇市 |
| 319 | 中城御殿跡 (首里高校内) | 那覇市 |
| 320 | 櫛園跡 | 那覇市 |
| 321 | ナカンダカリヤマの古墓群 | 那覇市 |
| 322 | 波上洞穴遺跡 | 那覇市 |
| 323 | 真珠道跡 | 那覇市 |
| 324 | 松崎馬場跡 | 那覇市 |
| 325 | 山川貝塚 | 那覇市 |
| 326 | 山下町第一洞穴遺跡 | 那覇市 |
| 327 | 龍潭・ハンタン山 | 那覇市 |
| 328 | 湧田古窯跡 会議棟 | 那覇市 |
| 329 | 湧田古窯跡 行政棟 | 那覇市 |
| 330 | 湧田古窯跡 警察棟 | 那覇市 |
| 331 | 湧田古窯跡 県民広場地下駐 車場 | 那覇市 |
| 332 | 渡地村跡 | 那覇市 |
| 333 | 平良グスク | 豊見城市 |
| 334 | 高嶺古島遺跡 | 豊見城市 |
| 335 | 長嶺グスク | 豊見城市 |
| 336 | 保栄茂グスク | 豊見城市 |
| 337 | 真玉橋 | 豊見城市 |
| 338 | 阿波根グスク | 糸満市 |
| 339 | 阿波根古島遺跡 | 糸満市 |
| 340 | 新垣グスク | 糸満市 |
| 341 | 伊敷グスク | 糸満市 |
| 342 | 伊敷轟洞穴遺跡 | 糸満市 |
| 343 | 石原グスク | 糸満市 |
| 344 | 稲嶺屋取遺跡 | 糸満市 |
| 345 | 伊原遺跡 | 糸満市 |
| 346 | 伊原グスク | 糸満市 |
| 347 | 宇栄城グスク | 糸満市 |
| 348 | 上里グスク | 糸満市 |
| 349 | 大城森グスク | 糸満市 |
| 350 | 奥間グスク | 糸満市 |
| 351 | 兼城貝塚 | 糸満市 |
| 352 | 川田原貝塚 | 糸満市 |
| 353 | 喜屋武貝塚 | 糸満市 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|----------------|------|
| 354 | 喜屋武古グスク | 糸満市 |
| 355 | 国吉グスク | 糸満市 |
| 356 | 国吉坂石器片散布地 | 糸満市 |
| 357 | 米須貝塚 | 糸満市 |
| 358 | シリーズ殿遺跡 | 糸満市 |
| 359 | 照屋グスク | 糸満市 |
| 360 | 波平グスク | 糸満市 |
| 361 | フェンサ城貝塚 | 糸満市 |
| 362 | 真栄里貝塚 | 糸満市 |
| 363 | 真栄里グスク | 糸満市 |
| 364 | 与座グスク | 糸満市 |
| 365 | 和解森遺跡 | 糸満市 |
| 366 | 新城グスク | 八重瀬町 |
| 367 | 上グスク | 八重瀬町 |
| 368 | ガラビ壕遺跡 | 八重瀬町 |
| 369 | 具志頭グスク | 八重瀬町 |
| 370 | ジリグスク | 八重瀬町 |
| 371 | テミグラグスク | 八重瀬町 |
| 372 | マーガヌ殿遺跡 | 八重瀬町 |
| 373 | 八重瀬グスク | 八重瀬町 |
| 374 | 与古田屋原貝塚 | 八重瀬町 |
| 375 | 世名城グスク | 八重瀬町 |
| 376 | 熱田原貝塚 | 南城市 |
| 377 | 伊敷浜貝塚 | 南城市 |
| 378 | 糸数城跡 | 南城市 |
| 379 | キナグナーワンダー遺跡 | 南城市 |
| 380 | 稲福遺跡 | 南城市 |
| 381 | 御殿庭遺跡 | 南城市 |
| 382 | 大城グスク | 南城市 |
| 383 | 大嶽貝塚 | 南城市 |
| 384 | 喜良原遺跡 | 南城市 |
| 385 | 具志堅ウージ洞穴遺跡 | 南城市 |
| 386 | 久高貝塚 | 南城市 |
| 387 | 久手堅殿遺物散布地 | 南城市 |
| 388 | 蔵屋敷遺跡 | 南城市 |
| 389 | クルク原貝塚 | 南城市 |
| 390 | 佐敷グスク | 南城市 |
| 391 | 志喜屋公民館周辺遺物散布地 | 南城市 |
| 392 | シマシヤーマ貝塚 | 南城市 |
| 393 | ソージ(寒水)グスク | 南城市 |
| 394 | 玉城城跡 | 南城市 |
| 395 | 知念城跡 | 南城市 |
| 396 | 仲栄真グスク | 南城市 |
| 397 | ヒジへ浜貝塚 | 南城市 |
| 398 | 百名第二貝塚 | 南城市 |
| 399 | 船越A遺跡 | 南城市 |
| 400 | 船越グスク | 南城市 |
| 401 | 古間グスク(カンチャグスク) | 南城市 |
| 402 | 堀川貝塚 | 南城市 |
| 403 | 前川貝塚 | 南城市 |
| 404 | 新原貝塚 | 南城市 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|------------------|------|
| 405 | 新原第一貝塚 | 南城市 |
| 406 | ミントングスク | 南城市 |
| 407 | ヤグル貝塚 | 南城市 |
| 408 | ヤローヤ洞穴遺跡 | 南城市 |
| 409 | 板良敷ノロ殿 | 与那原町 |
| 410 | 大見武殿 | 与那原町 |
| 411 | 島ノ上原遺跡 | 与那原町 |
| 412 | クニンドー遺跡 | 南風原町 |
| 413 | 宇江城城跡 | 久米島町 |
| 414 | ウルル貝塚 | 久米島町 |
| 415 | オーハ島東奥武海底遺跡 | 久米島町 |
| 416 | 大原貝塚 | 久米島町 |
| 417 | 大原第二貝塚 | 久米島町 |
| 418 | カンジン原古墓群 | 久米島町 |
| 419 | 北原貝塚 | 久米島町 |
| 420 | 具志川城跡 | 久米島町 |
| 421 | 久根グスク | 久米島町 |
| 422 | クニグスク | 久米島町 |
| 423 | 下地原洞穴遺跡 | 久米島町 |
| 424 | 島尻古島遺跡 | 久米島町 |
| 425 | 清水貝塚 | 久米島町 |
| 426 | 下地原洞穴遺跡 | 久米島町 |
| 427 | 謝名堂貝塚 | 久米島町 |
| 428 | 白瀬川河口遺物散布地 | 久米島町 |
| 429 | 塩原グスク | 久米島町 |
| 430 | 銭田貝塚 | 久米島町 |
| 431 | チャラのクブ遺跡 | 久米島町 |
| 432 | 泊貝塚 | 久米島町 |
| 433 | 登武那覇グスク | 久米島町 |
| 434 | ナカノ浜海底遺跡 | 久米島町 |
| 435 | 仲村渠古島遺跡 | 久米島町 |
| 436 | 東奥武海底遺跡 | 久米島町 |
| 437 | 真謝港遺物散布地 | 久米島町 |
| 438 | ミレー原遺跡 | 久米島町 |
| 439 | ヤジヤーガマ遺跡 | 久米島町 |
| 440 | ヤッチのガマ | 久米島町 |
| 441 | 山城遺跡 | 久米島町 |
| 442 | 山玉グスク | 久米島町 |
| 443 | アーガー（リルカファ）遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 444 | 東上原遺跡 | 渡嘉敷村 |
| 445 | 阿波連浦貝塚 | 渡嘉敷村 |
| 446 | 阿波連貝塚 | 渡嘉敷村 |
| 447 | 阿波連集落周辺遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 448 | アリガーヌワラ遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 449 | 神山島灯台付近遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 450 | 旧前島集落 | 渡嘉敷村 |
| 451 | ジーツプヌクシ遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 452 | 渡嘉敷河川口遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 453 | 渡嘉敷集落周辺遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 454 | 渡嘉志久貝塚 | 渡嘉敷村 |
| 455 | パンリグチ遺物散布地 | 渡嘉敷村 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|--------------------|------|
| 456 | 船越原遺跡 | 渡嘉敷村 |
| 457 | 船越原の石切り場 | 渡嘉敷村 |
| 458 | ヘイジョーグワァー遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 459 | 東川上御嶽（テラガイ）周辺遺物散布地 | 渡嘉敷村 |
| 460 | 阿嘉貝塚 | 座間味村 |
| 461 | 阿護の浦海底遺跡 | 座間味村 |
| 462 | 阿佐遺物散布地 | 座間味村 |
| 463 | 阿真遺物散布地 | 座間味村 |
| 464 | 阿真の古墓群 | 座間味村 |
| 465 | 安室貝塚 | 座間味村 |
| 466 | ウタハ貝塚 | 座間味村 |
| 467 | ウフタ遺物散布地 | 座間味村 |
| 468 | 嘉比北遺物散布地 | 座間味村 |
| 469 | グスク山 | 座間味村 |
| 470 | 慶留間遺跡 | 座間味村 |
| 471 | 慶留間の古墓群 | 座間味村 |
| 472 | 座間味貝塚 | 座間味村 |
| 473 | シルグスク | 座間味村 |
| 474 | ツングスク（積城） | 座間味村 |
| 475 | 古座間味貝塚 | 座間味村 |
| 476 | 大和馬遺物散布地 | 座間味村 |
| 477 | 八重川グスク | 粟国村 |
| 478 | 巢飼原貝塚 | 粟国村 |
| 479 | 西御願貝塚 | 粟国村 |
| 480 | 浜崎原遺跡 | 粟国村 |
| 481 | 東遺物散布地 | 粟国村 |
| 482 | 松尾原洞穴遺跡 | 粟国村 |
| 483 | アーカル原遺跡 | 渡名喜村 |
| 484 | 大道原遺跡 | 渡名喜村 |
| 485 | 里遺跡 | 渡名喜村 |
| 486 | 西底原遺跡 | 渡名喜村 |
| 487 | 東貝塚 | 渡名喜村 |
| 488 | アシチ原遺跡 | 伊平屋村 |
| 489 | 石蔵川貝塚 | 伊平屋村 |
| 490 | 上里遺跡 | 伊平屋村 |
| 491 | ウンナ原遺跡 | 伊平屋村 |
| 492 | 我喜屋遺跡 | 伊平屋村 |
| 493 | グーサンナ森遺跡 | 伊平屋村 |
| 494 | 久里原貝塚 | 伊平屋村 |
| 495 | 島尻第1遺跡 | 伊平屋村 |
| 496 | 島尻第2遺跡 | 伊平屋村 |
| 497 | 瀧川原貝塚 | 伊平屋村 |
| 498 | 田茂原遺跡 | 伊平屋村 |
| 499 | 瀧川原遺跡 | 伊平屋村 |
| 500 | 田名西貝塚 | 伊平屋村 |
| 501 | テライ原西海岸遺物散布地 | 伊平屋村 |
| 502 | トウロウ遺物散布地 | 伊平屋村 |
| 503 | トゥンチ山遺跡 | 伊平屋村 |
| 504 | 野甫貝塚 | 伊平屋村 |
| 505 | 野甫島北海岸遺物散布地 | 伊平屋村 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|---------------|------|
| 506 | 東原貝塚 | 伊平屋村 |
| 507 | アギギタラ貝塚 | 伊是名村 |
| 508 | 伊是名ウフジカ遺跡 | 伊是名村 |
| 509 | 伊是名貝塚 | 伊是名村 |
| 510 | 伊是名貝塚B地点 | 伊是名村 |
| 511 | 伊是名グスク周辺遺物散布地 | 伊是名村 |
| 512 | 伊是名城跡 | 伊是名村 |
| 513 | 伊是名元島遺跡 | 伊是名村 |
| 514 | 伊是名龍神洞遺跡 | 伊是名村 |
| 515 | 内花海岸遺物散布地 | 伊是名村 |
| 516 | 内花貝塚 | 伊是名村 |
| 517 | 親畑貝塚 | 伊是名村 |
| 518 | 具志川島遺跡群 | 伊是名村 |
| 519 | 岩立遺跡 | 伊是名村 |
| 520 | 勢理客貝塚 | 伊是名村 |
| 521 | タチハ原遺跡 | 伊是名村 |
| 522 | タチャー遺跡 | 伊是名村 |
| 523 | 仲田貝塚 | 伊是名村 |
| 524 | 屋那覇島遺跡群 | 伊是名村 |
| 525 | 屋那覇島の石切場跡 | 伊是名村 |
| 526 | 天川遺跡 | 宮古島市 |
| 527 | アラスト遺物散布地 | 宮古島市 |
| 528 | 石原城遺跡 | 宮古島市 |
| 529 | 成川井遺跡 | 宮古島市 |
| 530 | 伊良部西元島遺跡 | 宮古島市 |
| 531 | 伊良部東元島遺跡 | 宮古島市 |
| 532 | 伊良部元島遺跡 | 宮古島市 |
| 533 | 上ノ頂遺跡 | 宮古島市 |
| 534 | 上原遺跡 | 宮古島市 |
| 535 | 上比屋山遺跡 | 宮古島市 |
| 536 | 上地カナイダ遺跡 | 宮古島市 |
| 537 | 大浦多志遺跡 | 宮古島市 |
| 538 | 浦底遺跡 | 宮古島市 |
| 539 | 砂川元島遺跡 | 宮古島市 |
| 540 | オイオキ原遺跡 | 宮古島市 |
| 541 | 大神遺跡 | 宮古島市 |
| 542 | 大牧遺跡 | 宮古島市 |
| 543 | 喜佐真御嶽遺跡 | 宮古島市 |
| 544 | 国仲元島遺跡 | 宮古島市 |
| 545 | 来間遺跡 | 宮古島市 |
| 546 | 来間島沖海底遺跡 | 宮古島市 |
| 547 | グンソーミヤカ遺跡 | 宮古島市 |
| 548 | サガーニ遺跡 | 宮古島市 |
| 549 | 塩川御嶽遺跡 | 宮古島市 |
| 550 | 船立堂遺跡 | 宮古島市 |
| 551 | 尻並遺跡 | 宮古島市 |
| 552 | 島尻元島遺跡 | 宮古島市 |
| 553 | 塩川井遺跡 | 宮古島市 |
| 554 | 新里西元島遺跡 | 宮古島市 |
| 555 | 新里東元島遺跡 | 宮古島市 |
| 556 | 新里元島上方台地遺跡 | 宮古島市 |
| 557 | 新生遺跡 | 宮古島市 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|----------------|------|
| 558 | 洲鎌遺跡 | 宮古島市 |
| 559 | スパネートゥ墓遺跡 | 宮古島市 |
| 560 | 住屋遺跡 | 宮古島市 |
| 561 | 高腰城跡 | 宮古島市 |
| 562 | 友利遺跡 | 宮古島市 |
| 563 | 友利元島遺跡 | 宮古島市 |
| 564 | ナーラディー山遺跡 | 宮古島市 |
| 565 | 長間底遺跡 | 宮古島市 |
| 566 | 西銘城跡 | 宮古島市 |
| 567 | 野城遺跡 | 宮古島市 |
| 568 | 波栄真遺跡 | 宮古島市 |
| 569 | パリマガー遺跡 | 宮古島市 |
| 570 | 東仲宗根遺物散布地(二重越) | 宮古島市 |
| 571 | ピンザアブ洞穴 | 宮古島市 |
| 572 | フカイ原遺跡 | 宮古島市 |
| 573 | 保里遺跡 | 宮古島市 |
| 574 | 船立堂遺跡 | 宮古島市 |
| 575 | 保良前方原遺跡 | 宮古島市 |
| 576 | 保良元島遺跡 | 宮古島市 |
| 577 | 牧中御嶽遺跡 | 宮古島市 |
| 578 | 牧の頂遺跡 | 宮古島市 |
| 579 | ミズマ御嶽遺跡 | 宮古島市 |
| 580 | 嶺間遺跡 | 宮古島市 |
| 581 | 宮国元島遺跡 | 宮古島市 |
| 582 | 宮国元島上方古墓群 | 宮古島市 |
| 583 | 箕島遺跡 | 宮古島市 |
| 584 | 八重干瀬海底遺跡群第1地点 | 宮古島市 |
| 585 | 八重干瀬海底遺跡群第2地点 | 宮古島市 |
| 586 | 八重干瀬海底遺跡群第3地点 | 宮古島市 |
| 587 | 吉野海岸沖海底遺跡 | 宮古島市 |
| 588 | 与那覇遺跡 | 宮古島市 |
| 589 | 天川遺跡 | 多良間村 |
| 590 | 運城御嶽遺跡 | 多良間村 |
| 591 | 大道遺跡 | 多良間村 |
| 592 | 嘉服第一遺跡 | 多良間村 |
| 593 | 嘉服第二遺跡 | 多良間村 |
| 594 | 塩川井遺跡 | 多良間村 |
| 595 | 白嶺貝塚 | 多良間村 |
| 596 | 高田海岸沖海底遺跡 | 多良間村 |
| 597 | 多良間神社遺跡 | 多良間村 |
| 598 | 多良間添道遺跡 | 多良間村 |
| 599 | ナーラディー山遺跡 | 多良間村 |
| 600 | 波利真遺跡 | 多良間村 |
| 601 | パリマガー遺跡 | 多良間村 |
| 602 | 嶺間遺跡 | 多良間村 |
| 603 | 土原遺跡 | 多良間村 |
| 604 | 八重山遠見台 | 多良間村 |
| 605 | アラスク村遺跡 | 石垣市 |
| 606 | 石城山遺跡 | 石垣市 |
| 607 | 伊野田遺跡 | 石垣市 |
| 608 | 伊原間湾遺物散布地 | 石垣市 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|----------------|-----|
| 609 | ウイズ遺跡 | 石垣市 |
| 610 | ウイヌスズ遺跡 | 石垣市 |
| 611 | 大田兼久遺跡 | 石垣市 |
| 612 | 大田原遺跡 | 石垣市 |
| 613 | カーフ山遺跡 | 石垣市 |
| 614 | 川平貝塚 | 石垣市 |
| 615 | 川平底地遺跡 | 石垣市 |
| 616 | 嘉良嶽貝塚 | 石垣市 |
| 617 | 嘉良嶽東方古墓群 | 石垣市 |
| 618 | 嘉良嶽東貝塚 | 石垣市 |
| 619 | 神田貝塚 | 石垣市 |
| 620 | カンドウ原遺跡 | 石垣市 |
| 621 | 喜田盛遺跡 | 石垣市 |
| 622 | クードー遺跡 | 石垣市 |
| 623 | クバ御嶽 | 石垣市 |
| 624 | 竿若東遺跡 | 石垣市 |
| 625 | シタダル遺跡 | 石垣市 |
| 626 | 白保貝塚 | 石垣市 |
| 627 | 白保竿根田原洞穴遺跡 | 石垣市 |
| 628 | 伝盛山村跡遺跡 | 石垣市 |
| 629 | 桃里恩田遺跡 | 石垣市 |
| 630 | 通事氏宅地内勾玉・石斧出土地 | 石垣市 |
| 631 | 仲筋貝塚 | 石垣市 |
| 632 | 仲筋第二遺跡 | 石垣市 |
| 633 | 名蔵貝塚群 | 石垣市 |
| 634 | 名蔵瓦窯跡 | 石垣市 |
| 635 | 名蔵シタダル遺跡 | 石垣市 |
| 636 | 皆野宿岡遺跡 | 石垣市 |
| 637 | パイナーカー遺跡 | 石垣市 |
| 638 | 平得仲本御嶽遺跡 | 石垣市 |
| 639 | 平久保御嶽遺跡 | 石垣市 |
| 640 | 平地原遺跡 | 石垣市 |
| 641 | 平野後方岩陰遺跡 | 石垣市 |
| 642 | 平野後方第一遺跡 | 石垣市 |
| 643 | 平野後方第二遺跡 | 石垣市 |
| 644 | ピロースク遺跡 | 石垣市 |
| 645 | フーネ遺跡群 | 石垣市 |
| 646 | 吹通川第二貝塚 | 石垣市 |
| 647 | フクブクイザー(洞窟)遺跡 | 石垣市 |
| 648 | 富崎貝塚 | 石垣市 |
| 649 | 舟蔵貝塚 | 石垣市 |
| 650 | 船越貝塚 | 石垣市 |
| 651 | 舟路石前遺跡 | 石垣市 |
| 652 | フルスト原遺跡 | 石垣市 |
| 653 | 平喜名遺跡 | 石垣市 |
| 654 | マンゲー山遺跡群 | 石垣市 |
| 655 | 宮良第一遺跡 | 石垣市 |
| 656 | 宮良第二遺跡 | 石垣市 |
| 657 | 宮良第三遺跡 | 石垣市 |
| 658 | 宮良第四遺跡 | 石垣市 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|------------------|-----|
| 659 | 宮良湾海底遺跡 | 石垣市 |
| 660 | 安良海岸遺物散布地 | 石垣市 |
| 661 | 山原貝塚 | 石垣市 |
| 662 | ヤマバレー遺跡 | 石垣市 |
| 663 | 吉野遺跡 | 石垣市 |
| 664 | 米原海岸遺物散布地 | 石垣市 |
| 665 | アールウガン | 竹富町 |
| 666 | 網取遺跡 | 竹富町 |
| 667 | フカスク遺跡 | 竹富町 |
| 668 | 新本御嶽周辺遺跡 | 竹富町 |
| 669 | イナサイ遺跡 | 竹富町 |
| 670 | ンブフル遺跡 | 竹富町 |
| 671 | 上原宇奈利遺跡 | 竹富町 |
| 672 | 上原貝塚 | 竹富町 |
| 673 | 上原部落内遺跡 | 竹富町 |
| 674 | 上村遺跡 | 竹富町 |
| 675 | ウティスク山遺跡 | 竹富町 |
| 676 | 浦内遺跡 | 竹富町 |
| 677 | 大泊浜貝塚 | 竹富町 |
| 678 | カイジ浜貝塚 | 竹富町 |
| 679 | 嘉弥真遺跡 | 竹富町 |
| 680 | 旧ヒナイ部落遺跡 | 竹富町 |
| 681 | 慶来慶田城遺跡 | 竹富町 |
| 682 | 小浜旧部落遺跡 | 竹富町 |
| 683 | 小浜島北海岸遺物散布地 | 竹富町 |
| 684 | 古見赤石崎遺跡 | 竹富町 |
| 685 | 古見スラ所跡 | 竹富町 |
| 686 | サキバル遺跡 | 竹富町 |
| 687 | 下田原貝塚 | 竹富町 |
| 688 | 新里村遺跡 | 竹富町 |
| 689 | 石西礁湖海底遺跡群第1地点 | 竹富町 |
| 690 | 石西礁湖海底遺跡群第3地点 | 竹富町 |
| 691 | 祖納マエドマリ沖海底遺跡 | 竹富町 |
| 692 | 高那村跡遺跡 | 竹富町 |
| 693 | トゥマール貝塚(トマリ貝塚) | 竹富町 |
| 694 | 伝ウツォウ村跡遺跡 | 竹富町 |
| 695 | 伝オヤケアカハチ生誕の地 | 竹富町 |
| 696 | シムス村跡遺跡 | 竹富町 |
| 697 | 伝フザトウ村跡遺跡 | 竹富町 |
| 698 | 伝ペーミシユク村跡遺跡 | 竹富町 |
| 699 | 伝ミシユク村跡遺跡 | 竹富町 |
| 700 | 伝ヤグ村跡遺跡 | 竹富町 |
| 701 | 豊見親城遺跡 | 竹富町 |
| 702 | ナーマヤーヤシキ(ナーマ屋敷跡) | 竹富町 |
| 703 | 名石御嶽周辺遺跡 | 竹富町 |
| 704 | ナカツイ遺跡 | 竹富町 |
| 705 | 中野西崎遺跡 | 竹富町 |
| 706 | 仲間第一貝塚 | 竹富町 |
| 707 | 仲間第二貝塚 | 竹富町 |
| 708 | 仲本村跡遺跡 | 竹富町 |

| No. | 遺跡名 | 市町村 |
|-----|---------------|------|
| 709 | 中森貝塚 | 竹富町 |
| 710 | ナンザト遺跡 | 竹富町 |
| 711 | ニシヌブシヌヤー | 竹富町 |
| 712 | ニシンダ原貝塚 | 竹富町 |
| 713 | 南風見貝塚 | 竹富町 |
| 714 | 花城村跡遺跡 | 竹富町 |
| 715 | 平西貝塚 | 竹富町 |
| 716 | フージャヌクミ遺跡 | 竹富町 |
| 717 | 大底御嶽周辺遺跡 | 竹富町 |
| 718 | ブシンヤー | 竹富町 |
| 719 | 船浮遺跡 | 竹富町 |
| 720 | 船浦遺跡 | 竹富町 |
| 721 | 船浦スラ所跡 | 竹富町 |
| 722 | 星立部落内遺跡 | 竹富町 |
| 723 | 保多盛御嶽周辺遺跡 | 竹富町 |
| 724 | ボンヤマー遺跡 | 竹富町 |
| 725 | 美底御嶽周辺遺跡 | 竹富町 |
| 726 | ヤッサ島遺跡 | 竹富町 |
| 727 | ユンドゥレースク遺跡 | 竹富町 |
| 728 | 与那良遺跡 | 竹富町 |
| 729 | ンブフル（グサンツル）遺跡 | 竹富町 |
| 730 | 上里遺跡 | 与那国町 |
| 731 | 浦野遺跡 | 与那国町 |
| 732 | 大泊浜貝塚 | 与那国町 |
| 733 | 嘉田地区古墓群 | 与那国町 |
| 734 | 慶田崎遺跡 | 与那国町 |
| 735 | サンアイイソバ生誕の地 | 与那国町 |
| 736 | サンバル村跡遺跡 | 与那国町 |
| 737 | 島仲村跡遺跡 | 与那国町 |
| 738 | 潮原古墓群 | 与那国町 |
| 739 | 伝サガムトゥ村跡遺跡 | 与那国町 |
| 740 | トゥグル浜遺跡 | 与那国町 |
| 741 | 与那原遺跡 | 与那国町 |
| 742 | ナガト遺跡 | 与那国町 |
| 743 | 西真嘉遺跡 | 与那国町 |
| 744 | ヤマトバカ遺跡 | 与那国町 |
| 745 | ンダン遺跡 | 与那国町 |

3. 刊行物一覧

(1) 発掘調査報告書

| シリーズ | 報告書名 | 刊行年月 |
|------|--|------------------|
| 第1集 | 首里城跡—管理用道路地区発掘調査報告書— | 2001 (平成13) 年3月 |
| 第2集 | 天界寺跡 (I) —首里杜館地下駐車場入り口新設工事に伴う緊急発掘調査— | 2001 (平成13) 年3月 |
| 第3集 | 首里城跡—下之御庭跡・用物座跡・瑞泉門跡・漏刻門跡・廣福門跡・木曳門跡発掘調査報告書— | 2001 (平成13) 年3月 |
| 第4集 | 伊佐前原第一遺跡—宜野湾北中城線 (伊佐～普天間) 道路改築事業に伴う緊急発掘調査報告書 (III) — | 2001 (平成13) 年3月 |
| 第5集 | 沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (I) —南部編— | 2001 (平成13) 年3月 |
| 第6集 | ヤッチのガマ・カンジン原古墓群—県営かんがい排水事業 (カンジン地区) に係る埋蔵文化財発掘調査報告書— | 2001 (平成13) 年12月 |
| 第7集 | 新里元島上方台地遺跡 新里東元島遺跡—県道保良上地線 (友利～上地) 道路新設改良事業に伴う緊急発掘調査報告書— | 2002 (平成14) 年3月 |
| 第8集 | 天界寺跡 (II) —首里城公園管理棟新設工事に伴う緊急発掘調査— | 2002 (平成14) 年3月 |
| 第9集 | 首里城跡—継世門周辺地区発掘調査報告書— | 2002 (平成14) 年3月 |
| 第10集 | 円覚寺跡—遺構確認調査報告書— | 2002 (平成14) 年3月 |
| 第11集 | 基地内文化財II—基地内埋蔵文化財分布調査概要— | 2002 (平成14) 年3月 |
| 第12集 | 沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (II) —中部編— | 2002 (平成14) 年3月 |
| 第13集 | 綾門大道跡—首里城跡守礼門周辺地区発掘調査報告書— | 2003 (平成15) 年3月 |
| 第14集 | 首里城跡—右掖門及び周辺地区発掘調査報告書— | 2003 (平成15) 年3月 |
| 第15集 | 尻並遺跡—那覇地方裁判所平良支部建て替えに伴う発掘調査— | 2003 (平成15) 年3月 |
| 第16集 | 沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (III) —北部編— | 2003 (平成15) 年3月 |
| 第17集 | 御茶屋御殿跡—遺構確認調査報告書— | 2003 (平成15) 年3月 |
| 第18集 | 首里城跡—城の下地区発掘調査報告書— | 2004 (平成16) 年3月 |
| 第19集 | 首里城跡—城郭南側下地区発掘調査報告書— | 2004 (平成16) 年3月 |
| 第20集 | 首里城跡—東のアザナ地区発掘調査報告書— | 2004 (平成16) 年3月 |
| 第21集 | 与那国島 嘉田地区古墓群—嘉田地区ほ場整備事業に伴う緊急発掘調査報告書— | 2004 (平成16) 年3月 |
| 第22集 | 後兼久原遺跡—米軍送油管移設に係る緊急発掘調査報告書— | 2004 (平成16) 年3月 |
| 第23集 | 新石垣空港予定地内遺跡詳細分布調査 | 2004 (平成16) 年3月 |
| 第24集 | 基地内文化財III—基地内埋蔵文化財分布調査概要 (平成14・15年度) — | 2004 (平成16) 年3月 |
| 第25集 | 沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (IV) —本島周辺離島及び那覇市編— | 2004 (平成16) 年3月 |
| 第26集 | ナカンダカリヤマの古墓群—急傾斜地崩壊危険区域内擁壁工事に伴う発掘調査報告書— | 2005 (平成17) 年3月 |
| 第27集 | 首里城跡—上の毛及び周辺地区発掘調査報告書— | 2005 (平成17) 年3月 |
| 第28集 | 首里城跡—書院・鎖之間地区発掘調査報告書— | 2005 (平成17) 年3月 |
| 第29集 | 首里城跡—二階殿地区発掘調査報告書— | 2005 (平成17) 年3月 |
| 第30集 | 沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (V) —宮古諸島編— | 2005 (平成17) 年3月 |
| 第31集 | 沖縄科学技術大学院大学 (仮称) 建設予定地内の遺跡 (I) —埋蔵文化財予備調査 (表面踏査) 報告— | 2005 (平成17) 年5月 |
| 第32集 | 真珠道跡—首里城跡真珠道地区発掘調査報告書 (I) — | 2006 (平成18) 年3月 |
| 第33集 | 首里城跡—淑順門地区発掘調査報告書— | 2006 (平成18) 年3月 |
| 第34集 | 首里城跡—御内原地区発掘調査報告書— | 2006 (平成18) 年3月 |
| 第35集 | 新城下原第二遺跡—キャンプ瑞慶覧内整備工場建設に係る緊急発掘調査報告— | 2006 (平成18) 年3月 |

| シリーズ | 報告書名 | 刊行年月 |
|--------|---|---------------|
| 第 36 集 | 沖縄科学技術大学院大学(仮称)建設予定地内の遺跡(Ⅱ)―埋蔵文化財予備調査(試掘・確認調査)報告― | 2006(平成18)年3月 |
| 第 37 集 | 沿岸地域遺跡分布調査概報(Ⅰ)―沖縄本島・周辺離島編― | 2006(平成18)年3月 |
| 第 38 集 | 基地内文化財Ⅳ―平成15・16年度基地内埋蔵文化財分布調査概要― | 2006(平成18)年3月 |
| 第 39 集 | 西長浜原遺跡―範囲確認調査報告書― | 2006(平成18)年3月 |
| 第 40 集 | 御茶屋御殿跡―平成15・16・17年度遺構確認調査報告書― | 2006(平成18)年3月 |
| 第 41 集 | 沖縄県戦争遺跡詳細分布調査(Ⅵ)―八重山諸島編― | 2006(平成18)年3月 |
| 第 42 集 | 真珠道跡―首里城跡真珠道地区発掘調査報告書(Ⅱ)― | 2007(平成19)年3月 |
| 第 43 集 | 与那国島 潮原古墓群―与那国空港拡張工事に係る緊急発掘調査報告― | 2007(平成19)年3月 |
| 第 44 集 | 首里城跡―御内原西地区発掘調査報告書― | 2007(平成19)年3月 |
| 第 45 集 | 首里城跡―黄金御殿地区発掘調査報告書― | 2007(平成19)年3月 |
| 第 46 集 | 渡地村跡―臨海道路那覇1号線整備に伴う緊急発掘調査報告― | 2007(平成19)年7月 |
| 第 47 集 | 首里城跡―下之御庭首里森御嶽地区発掘調査報告書― | 2008(平成20)年3月 |
| 第 48 集 | 真珠道跡―首里城跡真珠道地区発掘調査報告書(Ⅲ)― | 2008(平成20)年3月 |
| 第 49 集 | 首里城跡―京の内跡発掘調査報告書(Ⅱ)― | 2009(平成21)年3月 |
| 第 50 集 | 嘉良嶽貝塚・嘉良嶽東方古墓群―新石垣空港予定地内遺跡発掘調査報告書― | 2009(平成21)年3月 |
| 第 51 集 | 首里城跡・真珠道跡―首里城跡守礼門東側地区・真珠道跡起点及び周辺地区発掘調査報告書― | 2009(平成21)年3月 |
| 第 52 集 | 沿岸地域遺跡分布調査概報(Ⅱ)―宮古・八重山諸島編― | 2009(平成21)年3月 |
| 第 53 集 | 中城御殿跡―県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書(Ⅰ)― | 2010(平成22)年3月 |
| 第 54 集 | 首里城跡―御内原北地区発掘調査報告書(Ⅰ)― | 2010(平成22)年3月 |
| 第 55 集 | 沿岸地域遺跡分布調査概報(Ⅲ)―遺跡地図・概要編― | 2010(平成22)年3月 |
| | ― 普天間飛行場内遺跡地図(中間報告)― | 2010(平成22)年3月 |
| 第 56 集 | 首里城跡―京の内跡発掘調査報告書(Ⅲ)―平成6年度調査の遺構編 | 2011(平成23)年3月 |
| 第 57 集 | 鏡水箕隅原 A 遺跡―那覇西道路建設に伴う発掘調査報告書― | 2011(平成23)年3月 |
| 第 58 集 | 中城御殿跡―県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書(2)― | 2011(平成23)年3月 |
| 第 59 集 | 喜田盛遺跡 | 2011(平成23)年3月 |
| 第 60 集 | 沖縄県伊是名村 具志川島遺跡群発掘調査概要報告書 | 2011(平成23)年3月 |
| 第 61 集 | 基地内文化財5―普天間飛行場内範囲確認調査 喜友名前原第三遺跡 喜友名東原第三遺跡― | 2011(平成23)年3月 |
| 第 62 集 | 首里城跡―京の内跡発掘調査報告書(Ⅳ)―平成6年度調査の遺物編(1) | 2012(平成24)年3月 |
| 第 63 集 | 中城御殿跡―県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書(3)― | 2011(平成23)年4月 |
| 第 64 集 | 具志川島遺跡群―保存・活用のための発掘調査報告― | 2012(平成24)年4月 |
| 第 65 集 | 白保竿根田原洞穴遺跡―新石垣空港建設工事に伴う緊急発掘調査報告書― | 2013(平成25)年3月 |
| 第 66 集 | 宮国元島上方古墓群―県道保良上地線道路改良工事に伴う発掘調査報告書― | 2013(平成25)年3月 |
| 第 67 集 | 中城御殿跡―県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書(4)― | 2013(平成25)年3月 |
| 第 68 集 | 首里城跡―淑順門西地区・奉神門埋甕地区発掘調査報告書― | 2013(平成25)年3月 |
| 第 69 集 | 首里城跡―御内原北地区発掘調査報告書(2)― | 2013(平成25)年3月 |
| 第 70 集 | 円覚寺跡(2)―右掖門地区・南側石牆地区の遺構確認調査報告書― | 2014(平成26)年3月 |

| シリーズ | 報告書名 | 刊行年月 |
|-------|---|---------------|
| 第71集 | 基地内文化財6－平成18・19・20年度 普天間飛行場内試掘調査－ | 2014（平成26）年3月 |
| 第72集 | 首里城跡－淑順門東地区発掘調査報告書－ | 2014（平成26）年3月 |
| 第73集 | 首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（V）－平成6年度調査の遺物編（2） | 2014（平成26）年3月 |
| 第74集 | キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書1－普天間古集落遺跡－ | 2015（平成27）年3月 |
| 第75集 | 沖縄県の戦争遺跡－平成22～26年度戦争遺跡詳細確認調査報告書－ | 2015（平成27）年3月 |
| 第76集 | 基地内文化財7－大山加良当原第四遺跡確認調査 神山黒敷原古墓群分布調査－付編：沖縄県における駐留軍用地内の埋蔵文化財取扱い方針 | 2015（平成27）年3月 |
| 第77集 | 首里城跡－銭蔵地区発掘調査報告書－ | 2015（平成27）年3月 |
| 第78集 | 首里城跡－大台所、料理座地区周辺発掘調査報告書－ | 2015（平成27）年3月 |
| 第79集 | キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書2－普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡・普天間下原第二遺跡・普天間石川原遺跡－ | 2015（平成27）年3月 |
| 第80集 | 首里城跡－銭蔵東地区発掘調査報告書－ | 2016（平成28）年2月 |
| 第81集 | 慶良間諸島の遺跡－平成22～27年度県内遺跡詳細分布調査報告書－ | 2016（平成28）年3月 |
| 第82集 | 首里城跡－正殿地区発掘調査報告書－ | 2016（平成28）年3月 |
| 第83集 | キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書3－普天間古集落遺跡－ | 2016（平成28）年3月 |
| 第84集 | 中城御殿跡－県営首里城公園 中城御殿跡発掘調査報告書（5）－ | 2016（平成28）年3月 |
| 第85集 | 白保竿根田原洞穴遺跡－重要遺跡範囲確認調査報告書1－事実報告編－ | 2017（平成29）年3月 |
| 第86集 | 白保竿根田原洞穴遺跡重要遺跡範囲確認調査報告書2－総括報告編－ | 2017（平成29）年3月 |
| 第87集 | 沖縄県の水中遺跡・沿岸遺跡－沿岸地域遺跡分布調査報告書－ | 2017（平成29）年3月 |
| 第88集 | 首里城跡－御内原東地区発掘調査報告書－ | 2017（平成29）年3月 |
| 第89集 | 首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（VI）－平成6年度調査の遺物編（3） | 2017（平成29）年3月 |
| 第90集 | キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書4－普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡－ | 2017（平成29）年3月 |
| 第91集 | 松崎馬場跡－県営首里城公園 松崎馬場跡発掘調査報告書（1）－ | 2017（平成29）年3月 |
| 第92集 | 東村跡－沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う緊急発掘調査報告書－ | 2017（平成29）年3月 |
| 第93集 | 中城御殿跡（首里高校内）－首里高校校舎改築に伴う発掘調査－ | 2017（平成29）年7月 |
| 第94集 | 基地内文化財8－平成27・28年度 キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区 試掘・確認調査－ | 2018（平成30）年3月 |
| 第95集 | 中城御殿跡－県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書（6）－ | 2018（平成30）年3月 |
| 第96集 | 首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（VII）－平成6年度調査の遺物編（4） | 2018（平成30）年3月 |
| 第97集 | 首里城跡－継世門北地区発掘調査報告書－ | 2018（平成30）年3月 |
| 第98集 | 首里城跡－東のアザナ北地区発掘調査報告書－ | 2018（平成30）年3月 |
| 第99集 | 神山古集落－普天間飛行場雨水排水処理施設整備に伴う発掘調査報告書－ | 2019（平成31）年3月 |
| 第100集 | 白保竿根田原洞穴遺跡重要遺跡範囲確認調査報告書3－補遺編－ | 2019（平成31）年3月 |
| 第101集 | 大嶺村跡－那覇空港事務所管制塔庁舎新築工事等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ | 2019（平成31）年3月 |
| 第102集 | 中城御殿跡－県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書（7）－ | 2019（平成31）年3月 |

| シリーズ | 報告書名 | 刊行年月 |
|-------|--|--------------|
| 第103集 | 首里城跡―美福門礎道地区発掘調査報告書― | 2020(令和2)年2月 |
| 第104集 | キャンプ・シュワブ海域文化財分布調査 | 2020(令和2)年3月 |
| 第105集 | 真珠道跡・松崎馬場跡―県営首里城公園整備に伴う発掘調査報告書― | 2020(令和2)年3月 |
| 第106集 | 首里当蔵旧水路―龍潭線街路整備に伴う発掘調査報告書― | 2020(令和2)年3月 |
| 第107集 | 円覚寺跡(3)―三門地区の遺構確認調査報告書― | 2021(令和3)年2月 |
| 第108集 | 鏡水原遺跡―那覇空港自動車道(小禄道路)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書― | 2021(令和3)年2月 |
| 第109集 | 中城御殿跡―県営首里城公園中城御殿跡発掘調査報告書(8)― | 2021(令和3)年3月 |
| 第110集 | 中城御殿跡(首里高校内)・櫓跡―首里高校校舎改築に伴う発掘調査(2)― | 2021(令和3)年9月 |
| 第111集 | 普天間石川原第一遺跡 普天間グスクンニー遺跡 普天間下原古墓群―キャンプ瑞慶覧内東普天間住宅地区に係る文化財発掘調査報告書― | 2022(令和4)年3月 |
| 第112集 | 基地内文化財9 普天間飛行場内試掘調査総括報告書 | 2022(令和4)年3月 |

(2) 図録

| | 図録名 | 刊行年月 |
|----|--|----------------|
| 1 | 重要文化財指定記念 特別企画展「首里城京の内展―貿易陶磁器からみた大交易時代―」 | 2001(平成13)年3月 |
| 2 | 企画展 沖縄県立埋蔵文化財センター「平成12年度発掘調査速報展」 | 2001(平成13)年7月 |
| 3 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「平成13年度発掘調査速報展」 | 2002(平成14)年7月 |
| 4 | 企画展図録「世界遺産～出土品からみた琉球王国のグスク～」 | 2002(平成14)年2月 |
| 5 | 企画展図録「復帰後三十年間の県内発掘調査展」 | 2002(平成14)年11月 |
| 6 | 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展」 | 2004(平成16)年1月 |
| 7 | 平成16年度企画展「発掘調査速報展2004」 | 2004(平成16)年7月 |
| 8 | 企画展図録「沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵 沖縄県内出土の舶載陶磁器展」 | 2004(平成16)年10月 |
| 9 | 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 陶磁の美―首里城京の内にもたらされた秀逸品―」 | 2005(平成17)年1月 |
| 10 | 平成17年度「沖縄県立埋蔵文化財センター企画展 発掘調査速報展2005」 | 2005(平成17)年7月 |
| 11 | 平成17年度「沖縄県立埋蔵文化財センター企画展 発掘調査速報移動パネル展2005」 | 2005(平成17)年9月 |
| 12 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「沖縄貝塚時代中期のミステリー」 | 2005(平成17)年10月 |
| 13 | 平成17年度企画展 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 陶磁器から古の神事(祭祀・儀式)を考える―首里城京の内神事における陶磁器使用の在り方―」 | 2006(平成18)年1月 |
| 14 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2006」 | 2006(平成18)年7月 |
| 15 | 平成18年度企画展「土からあらわれた金属製品―甦った金属製品の輝き―」 | 2006(平成18)年10月 |
| 16 | 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 ～冊封がもたらした陶磁器～」 | 2007(平成19)年1月 |
| 17 | 平成19年度企画展「多和田真淳先生生誕百年記念パネル展」 | 2007(平成19)年5月 |
| 18 | 平成19年度企画展「発掘調査速報展2007」 | 2007(平成19)年7月 |
| 19 | 移動展「発掘調査速報パネル展2007」 | 2007(平成19)年9月 |
| 20 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「多和田真淳先生生誕百年記念第2弾 多和田真淳先生の研究業績と発見した遺跡」 | 2007(平成19)年9月 |

| | 図 録 名 | 刊行年月 |
|----|---|---------------------|
| 21 | 平成 19 年度企画展 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展～青花の文様でみる～」 | 2008 (平成 20) 年 1 月 |
| 22 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2008」 | 2008 (平成 20) 年 7 月 |
| 23 | 企画展「原始人の知恵と工夫 天然素材(貝殻・骨・角・牙)の活用」 | 2008(平成 20) 年 9 月 |
| 24 | 重要文化財公開「平成 20 年度 首里城京の内跡出土品展 土でつくられた緑の宝石「小型青磁」 | 2009 (平成 21) 年 1 月 |
| 25 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2009」 | 2009 (平成 21) 年 7 月 |
| 26 | 平成 21 年度企画展「考古資料にみる日本・沖縄」 | 2009 (平成 21) 年 9 月 |
| 27 | 重要文化財公開「平成 21 年度 首里城京の内跡出土品展 大型青磁が彩る緑の空間～海を渡った焼物～」 | 2010 (平成 22) 年 1 月 |
| 28 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2010」 | 2010 (平成 22) 年 7 月 |
| 29 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「移動展 発掘調査速報展 2010」 | 2010 (平成 22) 年 9 月 |
| 30 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「10 周年展 ～埋文センター 10 年の歩み～」 | 2010 (平成 22) 年 10 月 |
| 31 | 平成 22 年度重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 首里城ものがたり」 | 2011 (平成 23) 年 1 月 |
| 32 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2011」 | 2011 (平成 23) 年 7 月 |
| 33 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「沖縄いしの考古学」 | 2011 (平成 23) 年 10 月 |
| 34 | 平成 23 年度 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 東南アジアと琉球」 | 2012 (平成 24) 年 1 月 |
| 35 | 沖縄県有形文化財(考古資料)指定記念「古我知原貝塚・下田原貝塚出土品展」 | 2012 (平成 24) 年 2 月 |
| 36 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2012」 | 2012 (平成 24) 年 7 月 |
| 37 | 国指定重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展」 | 2012 (平成 24) 年 11 月 |
| 38 | 平成 25 年度企画展「発掘調査速報展 2013」 | 2013 (平成 25) 年 8 月 |
| 39 | 国指定重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 文様に込められた思い」 | 2013 (平成 25) 年 11 月 |
| 40 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2014」 | 2014 (平成 26) 年 11 月 |
| 41 | 平成 26 年度 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展～甦る、異国からの宝物～」 | 2014 (平成 26) 年 7 月 |
| 42 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2015」 | 2015 (平成 27) 年 7 月 |
| 43 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2015 別巻 沖縄県の戦争遺跡 沖縄県戦争遺跡詳細確認調査の成果」 | 2015 (平成 27) 年 7 月 |
| 44 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「ふたつの中城御殿跡」 | 2015 (平成 27) 年 10 月 |
| 45 | 平成 27 年度重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 発見! 首里城の食といのり」 | 2016 (平成 28) 年 2 月 |
| 46 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「湧田古窯跡出土品展 - 琉球窯業の萌芽 -」 | 2016 (平成 28) 年 6 月 |
| 47 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2016」 | 2016 (平成 28) 年 8 月 |
| 48 | 平成 28 年度 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 憧れの青花」 | 2017 (平成 29) 年 2 月 |
| 49 | 沖縄県立埋蔵文化財センター「発掘調査速報展 2017」 | 2017 (平成 29) 年 8 月 |
| 50 | 平成 29 年度沖縄県立埋蔵文化財センター移動展「下田原貝塚出土品展」 | 2017 (平成 29) 年 9 月 |
| 51 | 平成 29 年度企画展「おきなわむかしむかし 縄文時代のくらし」 | 2017 (平成 29) 年 10 月 |

| | 図 録 名 | 刊行年月 |
|----|---|---------------------|
| 52 | 平成 29 年度 国指定重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 探求し続ける心」 | 2018 (平成 30) 年 2 月 |
| 53 | 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展 2018」 | 2018 (平成 30) 年 7 月 |
| 54 | 沖縄県立埋蔵文化財センター・浦添市教育委員会「平成 30 年度 沖縄県の戦争遺跡 前田高地から首里まで」 | 2018 (平成 30) 年 6 月 |
| 55 | 平成 30 年度企画展「沖縄県の水中遺跡・沿岸遺跡」 | 2018 (平成 30) 年 10 月 |
| 56 | 平成 30 年度 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 大交易時代の琉球と日本」 | 2019 (平成 31) 年 2 月 |
| 57 | 沖縄県立埋蔵文化財センター パネル展「沖縄県の戦争遺跡生徒・学生と共に学ぶ」 | 2019 (令和元) 年 6 月 |
| 58 | 沖縄県立埋蔵文化財センター 令和元年度企画展「発掘調査速報 2019」 | 2019 (令和元) 年 7 月 |
| 59 | 令和元年度 沖縄県埋蔵文化財公開活用合同企画展「掘り出された戦前の沖縄」 | 2019 (令和元) 年 10 月 |
| 60 | 令和元年度 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展 移動展「与那国島の遺跡展 トゥグル浜遺跡」 | 2019 (令和元) 年 11 月 |
| 61 | 令和元年度特別企画展「首里城正殿跡出土品展」 | 2019 (令和 2) 年 2 月 |
| 62 | 令和 2 年度 沖縄県の戦争遺跡展「歩いていける戦争遺跡」 | 2020 (令和 2) 年 8 月 |
| 63 | 沖縄県立埋蔵文化財センター「発掘調査速報 2020」 | 2020 (令和 2) 年 8 月 |
| 64 | 沖縄県立埋蔵文化財センター開所 20 周年記念展「埋蔵文化財センター 20 年の歩み」 | 2020 (令和 2) 年 10 月 |
| 65 | 令和 2 年度 重要文化財公開 琉球王国のグスク及び関連遺産群世界文化遺産登録 20 周年記念「首里城京の内跡出土品展 発掘された倉庫跡」 | 2021 (令和 3) 年 1 月 |
| 66 | 沖縄県立埋蔵文化財センター「発掘調査速報 2021」 | 2021 (令和 3) 年 7 月 |
| 67 | 4 館合同企画展『浅海底の戦争遺跡 USS エモンズーその記憶と伝承ー』『海から見た沖縄戦ー USS エモンズと日本軍特攻機の戦闘』 | 2021 (令和 3) 年 10 月 |

(3) 紀要

| | 名 称 | 刊行年月 |
|---|-------------|--------------------|
| 1 | 紀要 沖縄埋文研究 1 | 2003 (平成 15) 年 3 月 |
| 2 | 紀要 沖縄埋文研究 2 | 2004 (平成 16) 年 3 月 |
| 3 | 紀要 沖縄埋文研究 3 | 2005 (平成 17) 年 3 月 |
| 4 | 紀要 沖縄埋文研究 4 | 2006 (平成 18) 年 3 月 |
| 5 | 紀要 沖縄埋文研究 5 | 2007 (平成 19) 年 3 月 |
| 6 | 紀要 沖縄埋文研究 6 | 2009 (平成 21) 年 3 月 |
| 7 | 紀要 沖縄埋文研究 7 | 2012 (平成 24) 年 3 月 |

(4) その他

| | 名 称 |
|---|--|
| 1 | 沖縄県立埋蔵文化財センター 総合案内 (パンフレット) |
| 2 | 児童・生徒版総合案内「まいぶんへいこう！」(パンフレット) |
| 3 | 沖縄県立埋蔵文化財センター 案内 (リーフレット) |
| 4 | 古代体験マニュアル 1 「沖縄の縄文土器を作ろう！」(リーフレット) |
| 5 | 歴史新発見!! まいぶんセンター (リーフレット) |
| 6 | 沖縄歴史絵年表 (リーフレット) |
| 7 | 重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器保存修理事業～陶磁器編～ (リーフレット) |
| 8 | 重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器保存修理事業～金属製品編～ (リーフレット) |
| 9 | 重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器保存修理事業～保管箱編～ (リーフレット) |



徽 章 スイジガイ

沖縄の先史時代には貝を利用した用具や装飾品が多く、貝器文化が大きな特徴となっています。そのなかでスイジガイ（水字貝）製品は広く県内の遺跡から出土する代表的な貝器です。また、近年まで魔除けとして家畜小屋や家の前に吊す風習も広く分布していました。

令和3年度
沖縄県立埋蔵文化財センター年報

編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター

〒903-0125

沖縄県中頭郡西原町字上原193番地の7

TEL (098) 835-8751

FAX (098) 835-8754
